

■ 経営状況 ■

H24年度決算

- 平成24年度の単年度損益は、8億6,154万円余りの赤字決算となりました。
- この結果、累積欠損金は平成24年度末時点で、116億2,861万円余りとなりました。
- しかしながら、医業収益が対前年度比で6億5,152万円余り（+7.4%）増加したことなどにより、単年度損益で1億4,794万円余り、経常収支で4億8,928万円余り改善しました。
- また、幡多けんみん病院では、2年ぶりに単年度黒字化（1億876万円余り）を達成しました。

医業収益の増収

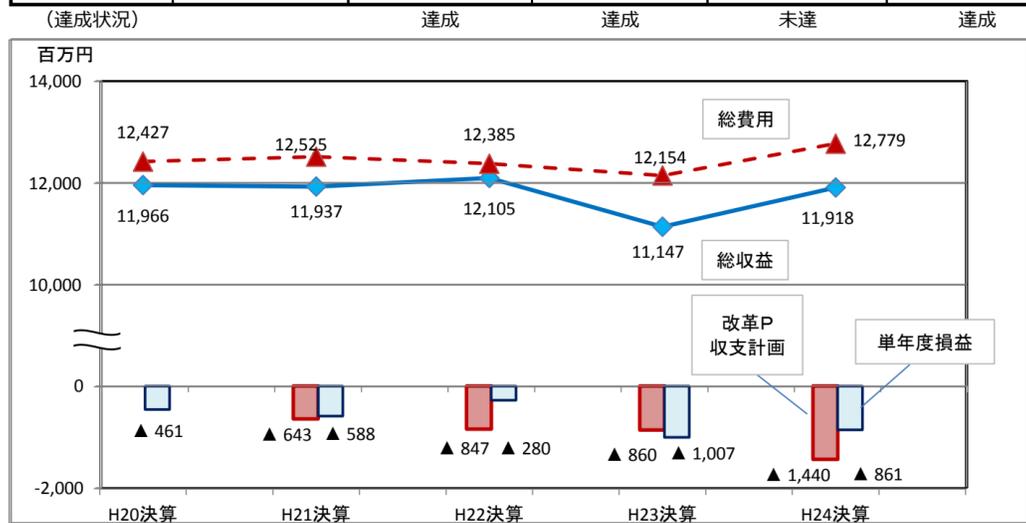
第4.5期改革プランで病床利用率などの数値目標を定め、目標達成に向けた取組を行いました。

		あき総合病院				幡多けんみん病院			
		計画	H24実績	計画比		計画	H24実績	計画比	
病床利用率	一般	75.0%	74.3%	▲ 0.7%	△	80.0%	80.7%	+ 0.7%	○
	精神	90.0%	76.6%	▲ 13.4%	×				
入院診療単価	一般	31,989円	35,201円	+ 3,212円	○	50,570円	52,218円	+ 1,648円	○
	精神	14,676円	14,728円	+ 52円	○				
1日平均入院患者	一般	110.0人	109.9人	▲ 0.1人	△	248.8人	254.2人	+ 5.4人	○
	精神	81.0人	68.9人	▲ 12.1人	×				
外来診療単価	一般	7,618円	8,283円	+ 665円	○	12,364円	12,141円	▲ 223円	×
	精神	7,716円	7,749円	+ 33円	○				
1日平均外来患者	一般	405.2人	407.1人	+ 1.9人	○	559.5人	557.1人	▲ 2.4人	△
	精神	66.9人	59.3人	▲ 7.6人	×				

病院事業決算の推移

(単位：百万円)

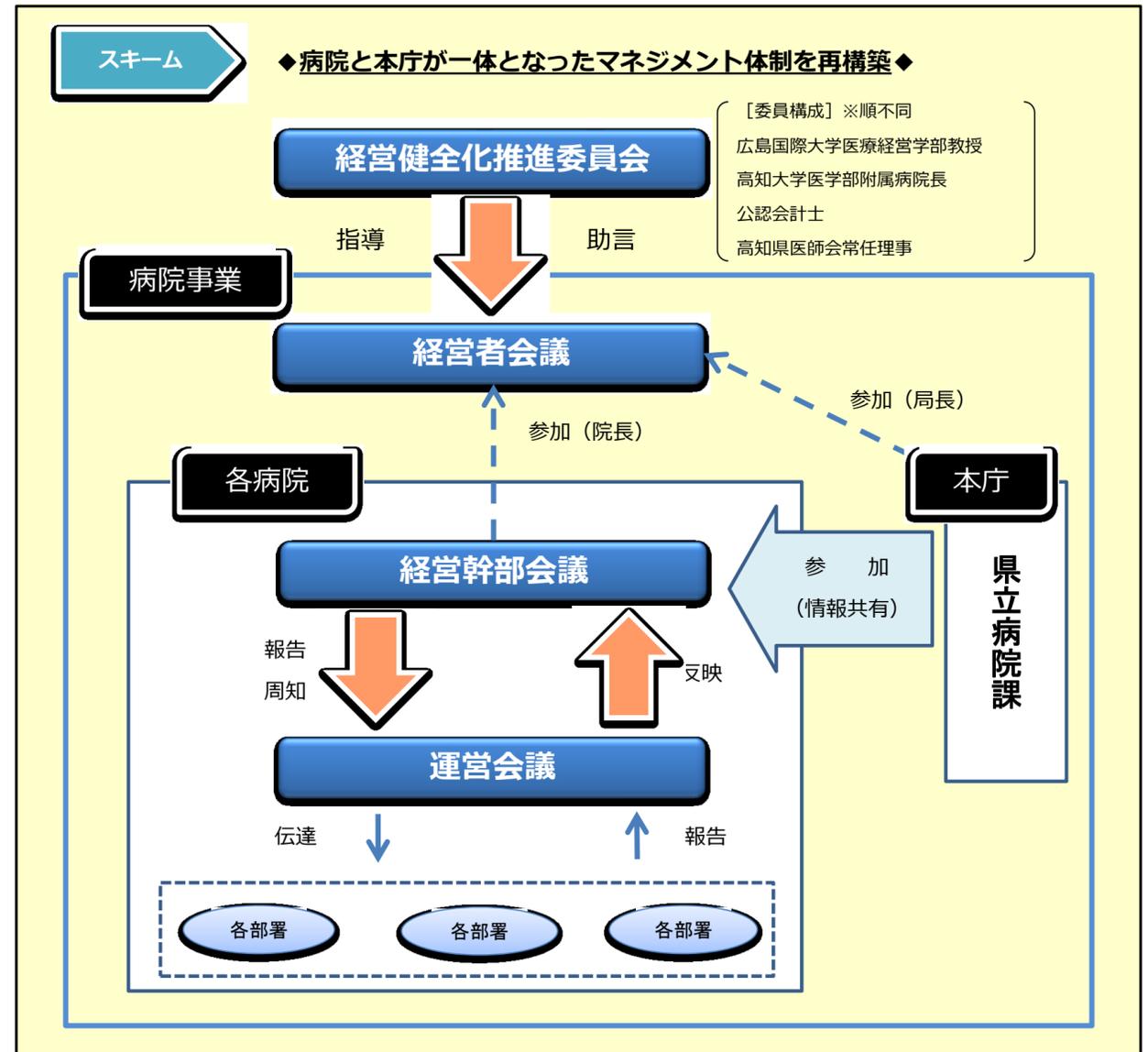
	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
総収益	11,966	11,937	12,105	11,147	11,918
総費用	12,427	12,525	12,385	12,154	12,779
経常損益	▲ 380	▲ 533	▲ 236	▲ 707	▲ 218
単年度損益	▲ 461	▲ 588	▲ 280	▲ 1,007	▲ 861
改革プラン収支計画	-	▲ 643	▲ 847	▲ 860	▲ 1,440
実績 - 計画	-	55	567	▲ 147	579



■ 経営管理体制（H24年4月～） ■

名称	主たる役割	構成（メンバー）	開催頻度
経営健全化推進委員会	経営健全化のための指導助言	外部有識者（4名）	年1回
経営者会議	病院事業の経営方針の決定	病院：院長、副院長、看護部長、副看護部長、事務部長 本庁：局長、次長、課長	年2～3回
経営幹部会議	病院の経営方針の決定 経営課題の共有、解決策の立案	病院：院長、副院長、看護部長、副看護部長、事務部長、次長 本庁：局長、次長、課長	月次
運営会議	経営幹部会議における決定事項等を各部署に伝達	経営幹部会議のメンバー 各部署の代表者	月次

※要綱及び規程により正式な会議として設置。



■ あき総合病院の現状

『病院本体整備が完了する平成26年4月には、地域の中核病院として求められる機能（救急や手術等2次医療の提供）を発揮する』との方針のもと、

- ①計画する医師数の確保※1
- ②外来患者対応から入院患者対応へのシフト※2を進めている。

※1 院長自らが、高知大学医学部を継続的に訪問し、医師の派遣を要請。
 ※2 地域の医療機関との役割分担（軽症及び症状が固定、安定した患者を逆紹介）

■ 平成23年度からの動き

- H23.4 高知大医学部第二外科 前田准教授を院長として招へい
- H23.5 麻酔科 診療応援体制の充実（週1回+緊急手術対応）
- H23.7 外科 常勤医 1名増（2名→3名）
- H23.10 放射線科 常勤医の派遣を受け、H17.5からの常勤医不在を解消
- H24.4 麻酔科 診療応援体制の充実（週1回→週2回+緊急手術対応）
- H24.4 内科 常勤医 2名増（2名→4名）
 ※高知大（第二内科）派遣+1、自治医大出身医師+1
- H24.10 内科 常勤医 1名増（4名→5名）
 ※自治医大で後期研修中の3年目医師（～H25.3.31まで）
- H24.11 産婦人科 診療応援開始（産科外来：1回/週）
- H25.1 脳神経外科 診療応援開始（外来診療：1回/週）
- H25.3 高知医療再生機構から「救急専門医」の常勤派遣受入開始
 ※直接雇用ではないため医師数にカウントせず

■ 今後の課題

- あき総合病院開院時（H26.4）に目標とする医師数の確保
- 常勤医不在診療科の解消（呼吸器科、脳神経外科、麻酔科）

診療科	始期	診療応援
呼吸器科	H17.4～	週2回（PM）
脳神経外科	H18.4～	週1回（AM）
麻酔科	H19.1～	週2回+緊急対応

※H24.4～ 週2回に増加

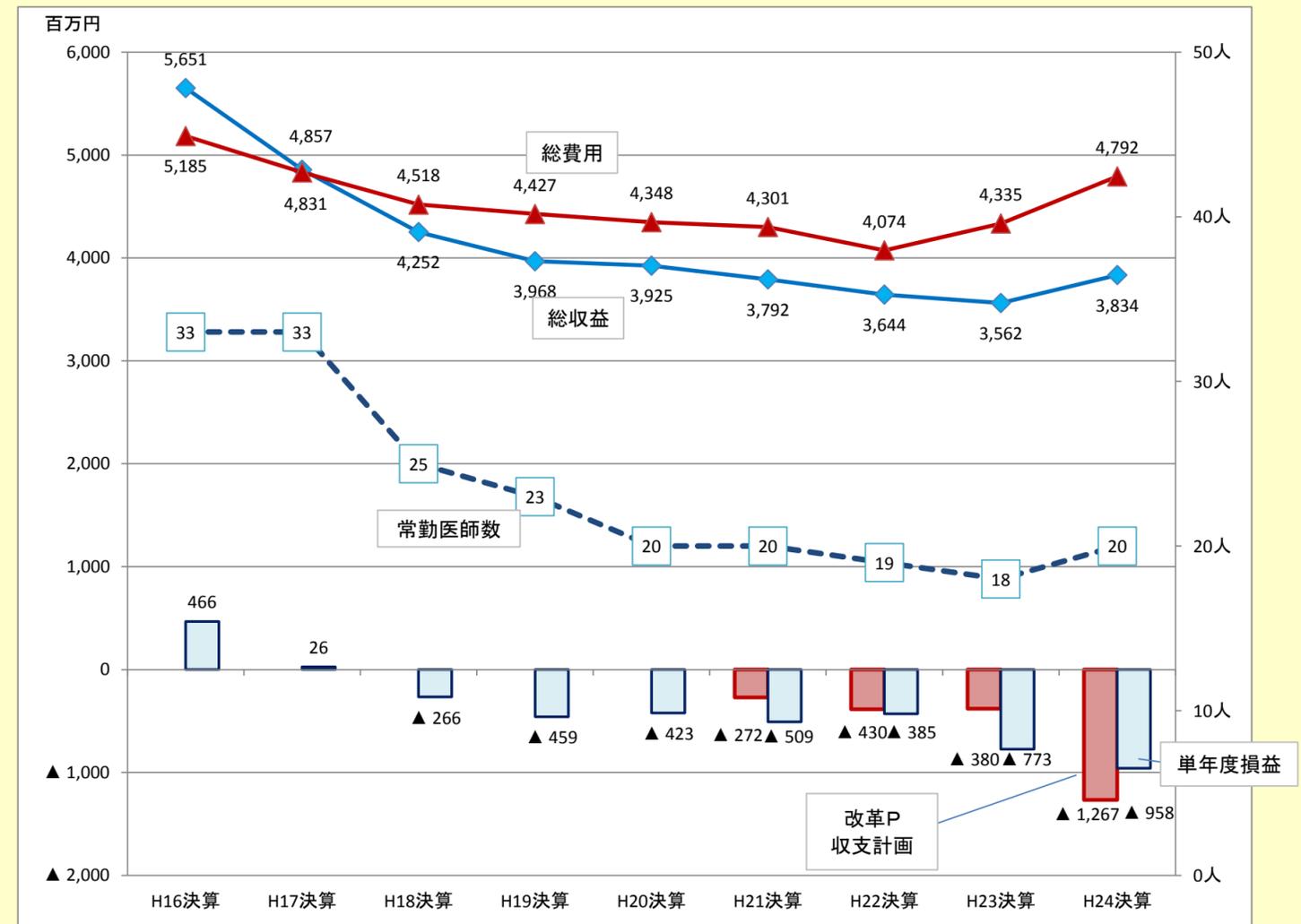
■ 総収益・総費用・単年度損益・医師数（4/1時点）の推移

（単位：百万円）

	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
総収益	5,651	4,857	4,252	3,968	3,925	3,792	3,644	3,562	3,834
総費用	5,185	4,831	4,518	4,427	4,348	4,301	4,074	4,335	4,792
経常損益	178	56	▲247	▲448	▲394	▲486	▲420	▲632	▲419
単年度損益	466	26	▲266	▲459	▲423	▲509	▲430	▲773	▲958
改革プラン収支計画						▲272	▲385	▲380	▲1,267
常勤医師数（4/1現在）	33人	33人	25人	23人	20人	20人	19人	18人	20人

※1 H23決算までは安芸病院と芸陽病院の合計値。

※2 医師数は一般診療科の人数。

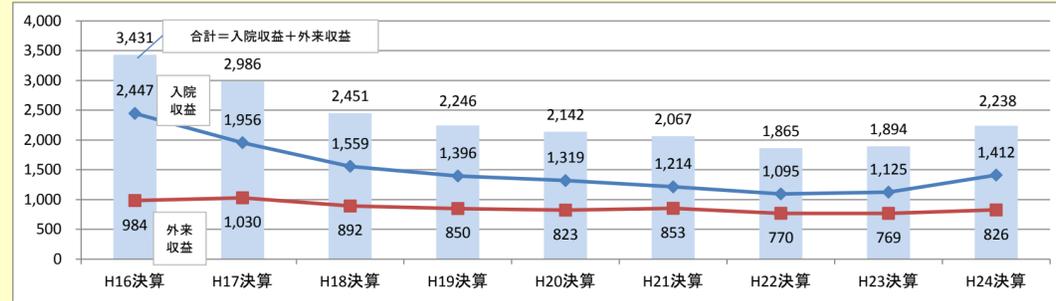


■あき総合病院の現状（一般診療科）

1 入院収益・外来収益の推移

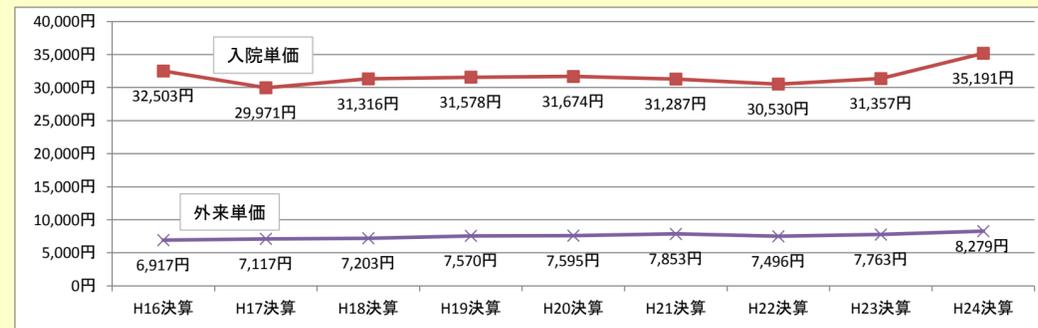
(単位：百万円)

	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
入院収益	2,447	1,956	1,559	1,396	1,319	1,214	1,095	1,125	1,412
外来収益	984	1,030	892	850	823	853	770	769	826
合計	3,431	2,986	2,451	2,246	2,142	2,067	1,865	1,894	2,238



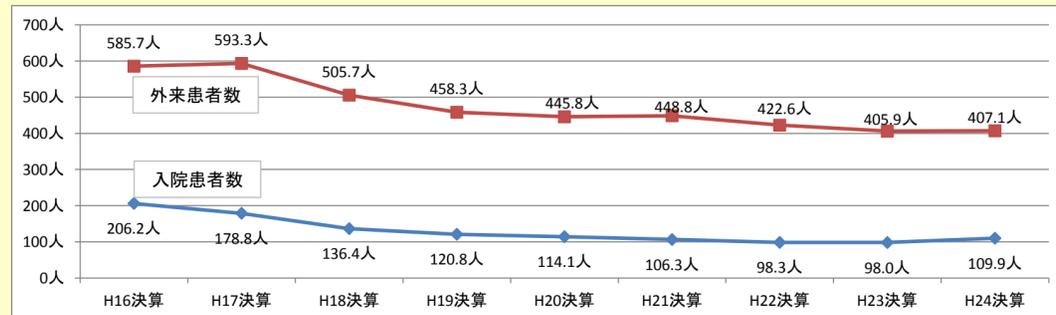
2 患者一人あたりの診療単価の推移

	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
入院単価	32,503円	29,971円	31,316円	31,578円	31,674円	31,287円	30,530円	31,357円	35,191円
外来単価	6,917円	7,117円	7,203円	7,570円	7,595円	7,853円	7,496円	7,763円	8,279円



3 1日平均患者数の推移

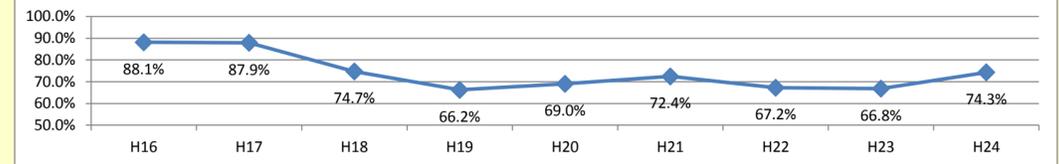
	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
稼働病床数	230床	201床	182床	182床	182床 (146床)	146床	146床	146床	146床
入院患者数	206.2人	178.8人	136.4人	120.8人	114.1人	106.3人	98.3人	98.0人	109.9人
外来患者数	585.7人	593.3人	505.7人	458.3人	445.8人	448.8人	422.6人	405.9人	407.1人



4 病床利用率の推移

※稼働病床、一般病床。

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
稼働病床数	230床	201床	182床	182床	182床 (146床)	146床	146床	146床	146床
病床利用率	88.1%	87.9%	74.7%	66.2%	69.0%	72.4%	67.2%	66.8%	74.3%

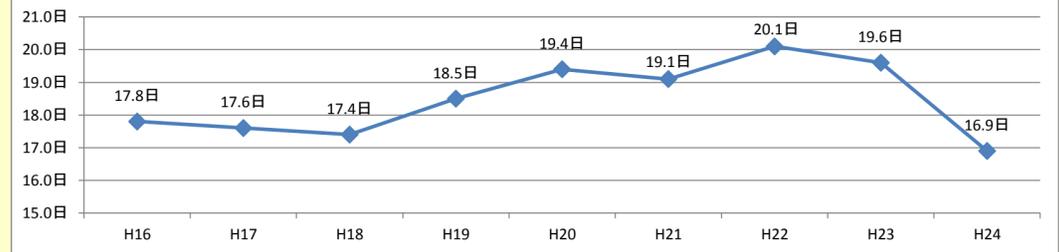


<参考> 月別 病床利用率の推移

	4月	5月	...	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	72.5%	73.4%	...	66.9%	63.0%	65.2%	67.9%	62.1%	67.2%
23年度	60.1%	60.3%	...	67.3%	70.5%	69.1%	76.9%	66.2%	66.8%
24年度	65.9%	71.8%	...	74.8%	79.5%	79.5%	75.9%	74.7%	74.3%
25年度	75.8%	73.4%							

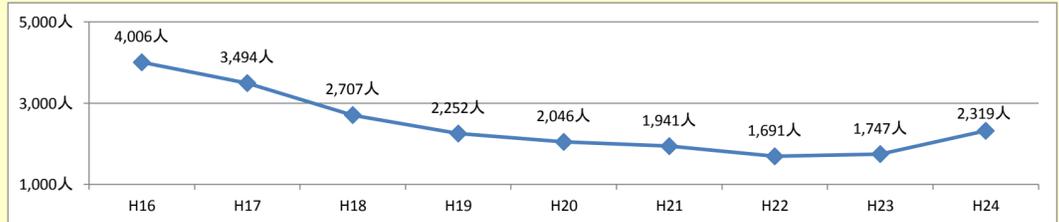
5 平均在院日数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
平均在院日数	17.8日	17.6日	17.4日	18.5日	19.4日	19.1日	20.1日	19.6日	16.9日



6 新入院患者数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
新入院患者数	4,006人	3,494人	2,707人	2,252人	2,046人	1,941人	1,691人	1,747人	2,319人



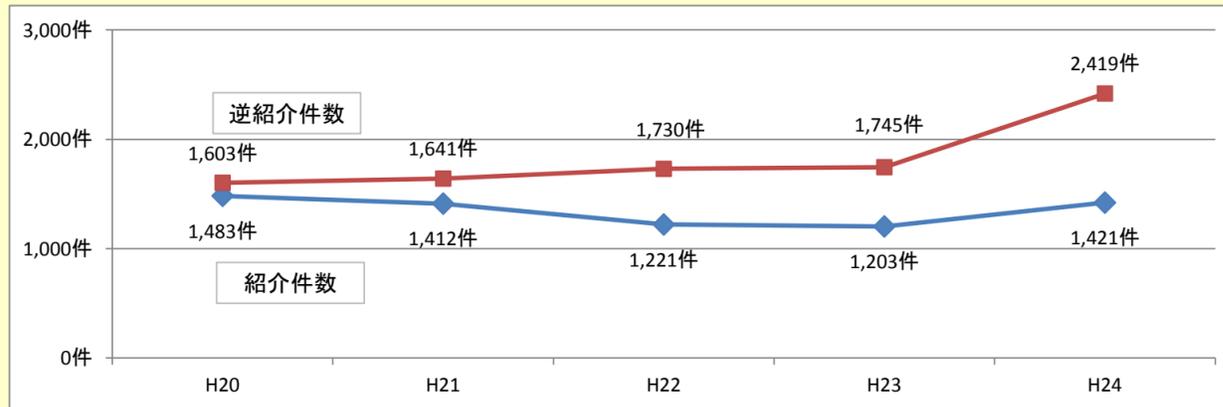
<参考> 月別 新入院患者数の推移

	4月	5月	...	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	168人	158人	...	137人	110人	144人	140人	117人	140.9人
23年度	106人	137人	...	135人	157人	155人	168人	154人	145.6人
24年度	164人	171人	...	202人	190人	184人	186人	193人	186.3人
25年度	207人	201人							204.0人

■あき総合病院の現状（一般診療科）

7 患者紹介件数・逆紹介件数の推移

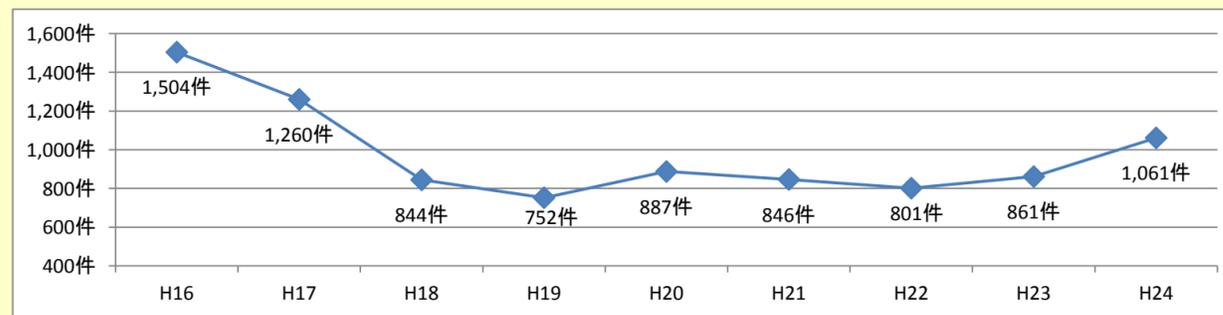
	H20	H21	H22	H23	H24
紹介件数	1,483件	1,412件	1,221件	1,203件	1,421件 (15.8%)
逆紹介件数	1,603件	1,641件	1,730件	1,745件	2,419件 (22.8%)



8 救急患者の受入状況

● 救急車搬送受入件数

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
件数	1,504件	1,260件	844件	752件	887件	846件	801件	861件	1,061件

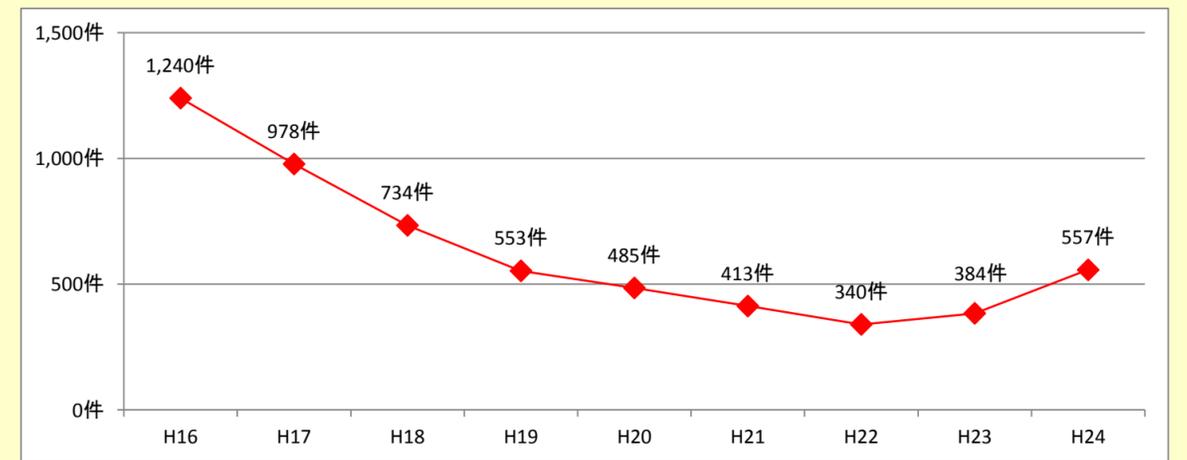


<参考> 月別 救急車搬送受入件数の推移

年度	4月	5月	・・・	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	55件	60件	・・・	63件	62件	89件	53件	59件	66.8件
23年度	68件	55件	・・・	85件	85件	78件	71件	81件	71.8件
24年度	79件	64件	・・・	85件	101件	100件	86件	88件	88.4件
25年度	109件	90件							99.5件

9 手術件数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
総件数	1,240件	978件	734件	553件	485件	413件	340件	384件	557件
外科	269件	169件	114件	98件	82件	53件	53件	95件	227件
整形	436件	371件	343件	233件	236件	220件	166件	180件	195件
脳外	70件	44件	0件	1件	2件	0件	0件	0件	0件
産婦	157件	135件	64件	23件	17件	22件	20件	23件	19件
眼科	137件	96件	90件	82件	74件	68件	79件	69件	81件
その他	171件	163件	123件	116件	74件	50件	22件	17件	35件



<参考> 月別 手術件数の推移

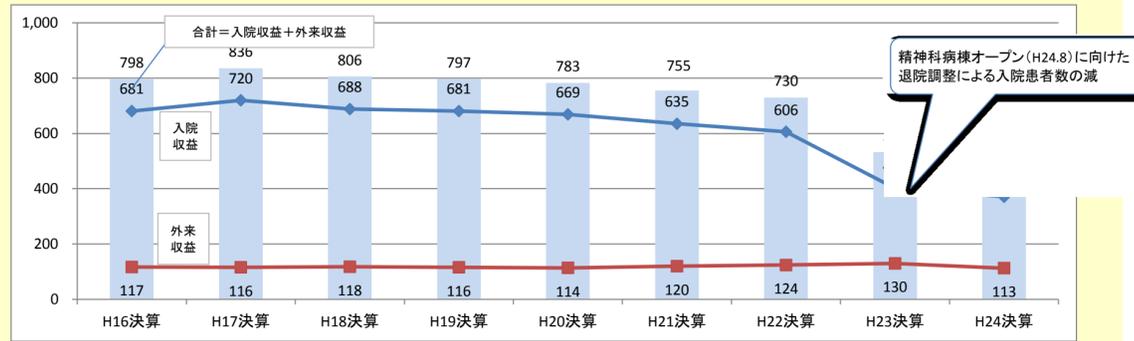
	4月	5月	・・・	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	36件	33件	・・・	31件	27件	23件	22件	32件	28.3件
23年度	28件	25件	・・・	34件	39件	33件	50件	37件	32.0件
24年度	36件	38件	・・・	46件	42件	46件	46件	55件	46.4件
25年度	64件	47件							55.5件

■あき総合病院（精神科）の現状

1 入院収益・外来収益の推移

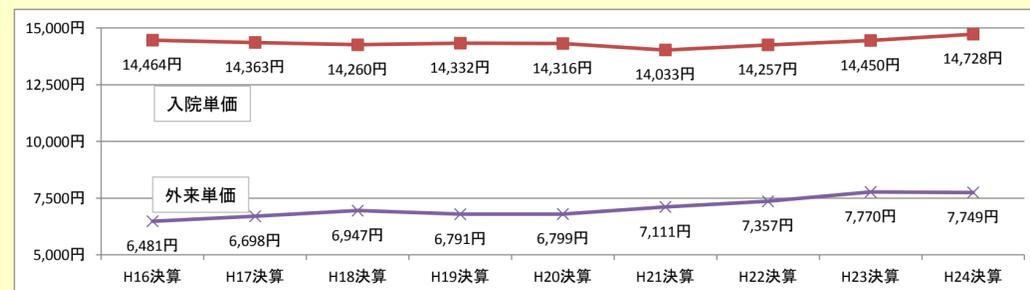
(単位：百万円)

	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
入院収益	681	720	688	681	669	635	606	402	371
外来収益	117	116	118	116	114	120	124	130	113
合計	798	836	806	797	783	755	730	532	484



2 患者一人あたりの診療単価の推移

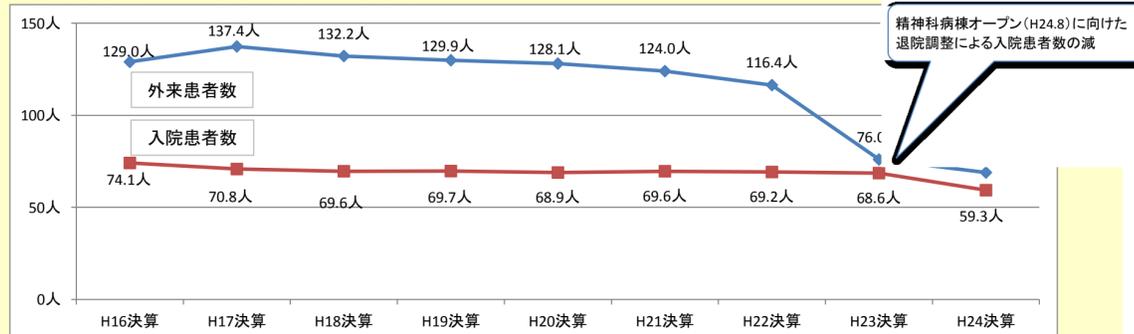
	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
入院単価	14,464円	14,363円	14,260円	14,332円	14,316円	14,033円	14,257円	14,450円	14,728円
外来単価	6,481円	6,698円	6,947円	6,791円	6,799円	7,111円	7,357円	7,770円	7,749円



3 1日平均患者数の推移

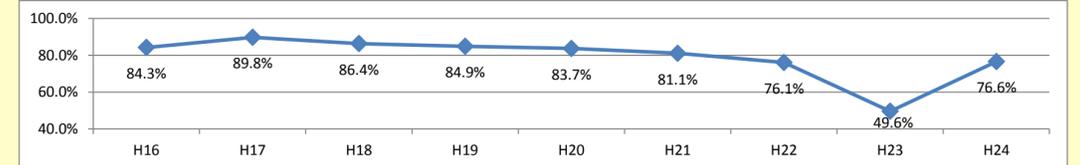
	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
稼働病床数	153床	153床	90床						
入院患者数	129.0人	137.4人	132.2人	129.9人	128.1人	124.0人	116.4人	76.0人	68.9人
外来患者数	74.1人	70.8人	69.6人	69.7人	68.9人	69.6人	69.2人	68.6人	59.3人

※稼働病床数 H24.3.31まで153床、H24.4.1から90床



4 病床利用率の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
稼働病床数	153床	90床							
病床利用率	84.3%	89.8%	86.4%	84.9%	83.7%	81.1%	76.1%	49.6%	76.6%

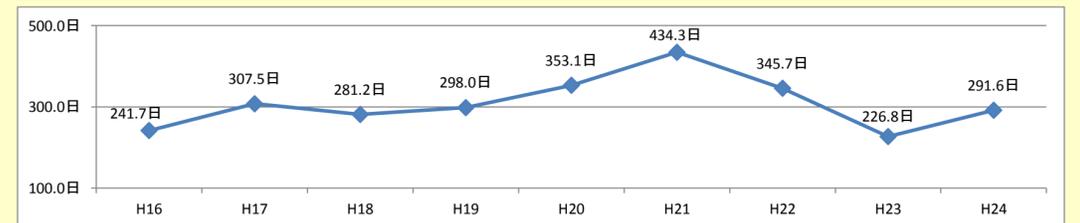


<参考> 月別 病床利用率の推移

	4月	5月	6月	...	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	81.2%	82.4%	82.5%	...	73.1%	69.7%	67.5%	62.9%	76.1%
23年度	57.9%	51.8%	53.4%	...	46.2%	46.2%	43.6%	45.9%	49.6%
24年度	76.2%	79.3%	74.2%	...	78.0%	74.3%	76.2%	78.2%	76.6%
25年度	81.0%	90.0%							

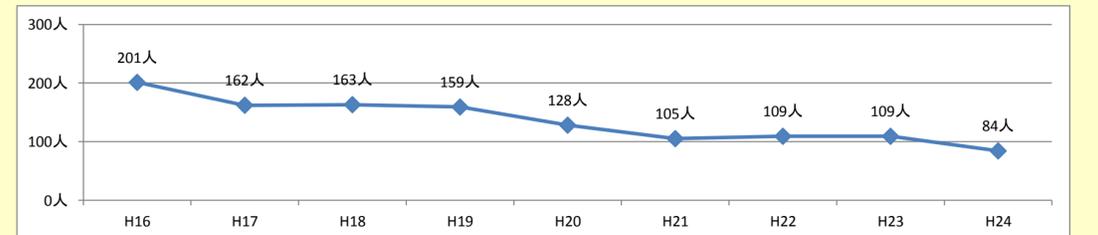
5 平均在院日数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
平均在院日数	241.7日	307.5日	281.2日	298.0日	353.1日	434.3日	345.7日	226.8日	291.6日



6 新入院患者数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
新入院患者数	201人	162人	163人	159人	128人	105人	109人	109人	84人



<参考> 月別 新入院患者数の推移

	4月	5月	6月	...	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	10人	8人	14人	...	7人	6人	6人	12人	9.1人
23年度	4人	9人	7人	...	10人	5人	12人	17人	9.1人
24年度	6人	7人	9人	...	5人	5人	6人	6人	7.0人
25年度	12人	10人							

■ 幡多けんみん病院の現状

『地域医療機関との連携をさらに促進し、幡多保健医療圏の中核病院としての機能（2. 5次医療の提供）を発揮する』との方針のもと、

- ①急性期医療（救急、手術、がん診療など）対応への重点化
 - ②外来患者対応から入院患者対応へのシフト※
- を進めている。

※ 地域の医療機関との役割分担（軽症及び症状が固定、安定した患者を逆紹介）

■ 平成23年度からの動き

- H23.4 「高知県がん診療連携推進病院」に指定（県知事指定）
- H23.4 外来化学療法室に専任の看護師2名を配置
- H23.4 皮膚科常勤医を確保（不在期間：H21.11～H23.3）
→H23.6からは2名体制に復元
- H23.5 院外処方本格実施
- H23.7 院外処方本格実施に伴う薬剤師業務の見直し（病棟への薬剤師の配置）
- H24.4 「地域がん診療連携拠点病院」に指定（厚生労働省指定）
- H24.4 内科 常勤医 1名増（4名→5名）※自治医大（義務内）
- H24.4 脳神経外科 常勤医 1名増（3名→4名）
※初期臨床研修医が、そのまま常勤医として残留
- H24.6 消化器科 常勤医 1名増（6名→7名）
- H24.7 麻酔科 常勤医 1名増（2名→3名）
- H24.7 産婦人科 常勤医 1名増（3名→4名）
- H24.8末 皮膚科 常勤医 1名減（2名→1名）※大学皮膚科へ復帰
- H24.9 内科 常勤医 1名増（5名→6名）※大学総合診療部から
- H24.10 内科 常勤医 1名増（6名→7名）※自治医大（義務内）
- H25.1 循環器科 常勤医 1名増（3名→4名）※高知記念病院から（医局人事）
- H25.3末 小児科 常勤医 1名減（6名→5名）※育休中
- H25.4 麻酔科 常勤医 1名増（3名→4名）
※近森病院で初期研修2年目の医師（4月から3年目、奨学金受給者）

■ 今後の課題

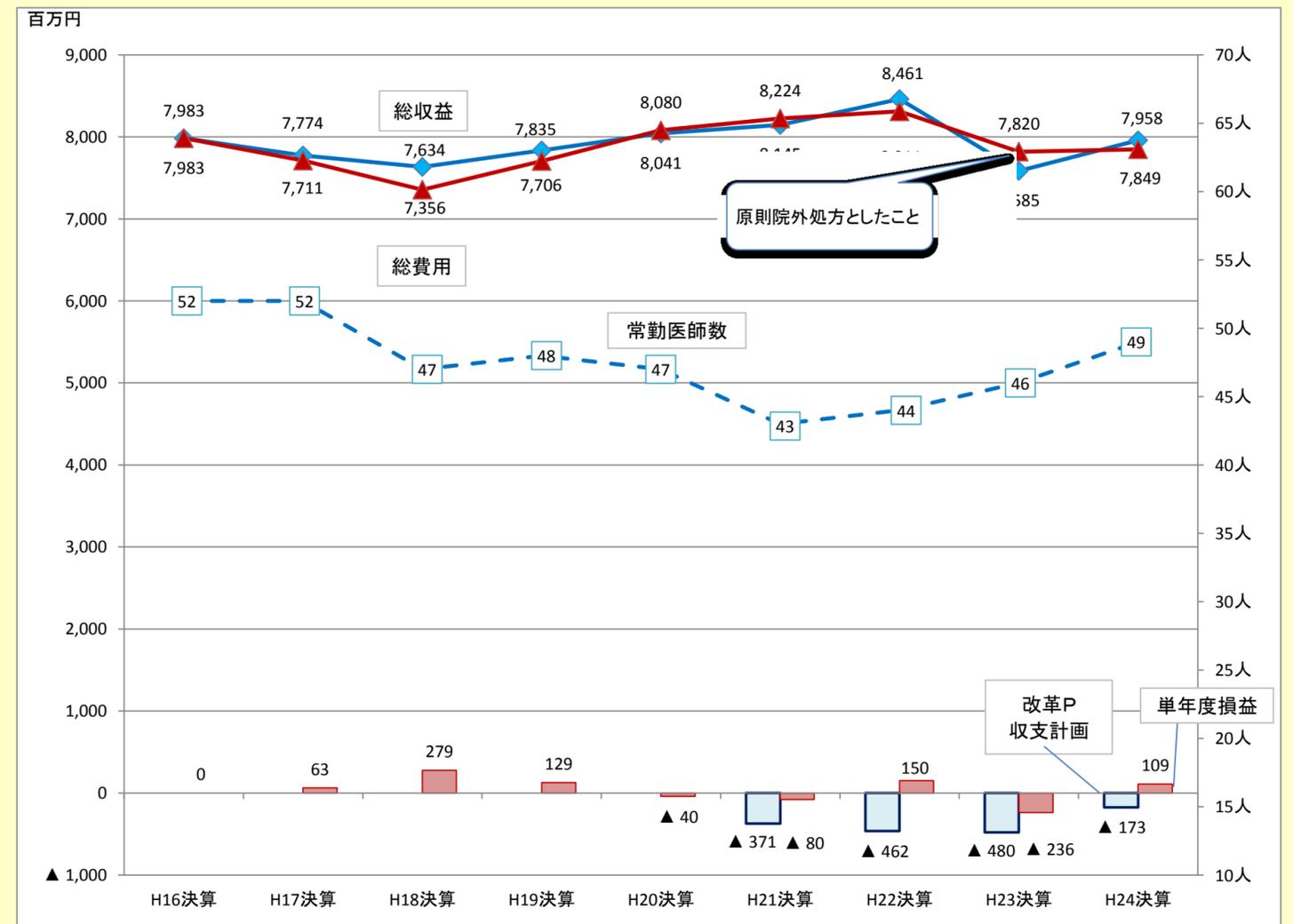
- 地域がん診療連携拠点病院としての体制の充実（人員・施設機能）
- 常勤医不在診療科の解消（呼吸器科、眼科、精神科）
- 病理診断医の継続確保

■ 総収益・総費用・単年度損益・医師数（4/1時点）の推移

（単位：百万円）

	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
総収益	7,983	7,774	7,634	7,835	8,041	8,145	8,461	7,585	7,958
総費用	7,983	7,711	7,356	7,706	8,080	8,224	8,311	7,820	7,849
経常損益	▲13	101	231	146	17	▲47	184	▲74	204
単年度損益	0	63	279	129	▲40	▲80	150	▲236	109
改革プラン収支計画						▲371	▲462	▲480	▲173
常勤医師数（4/1現在）	52人	52人	47人	48人	47人	43人	44人	46人	49人

※金額はいずれも税抜。

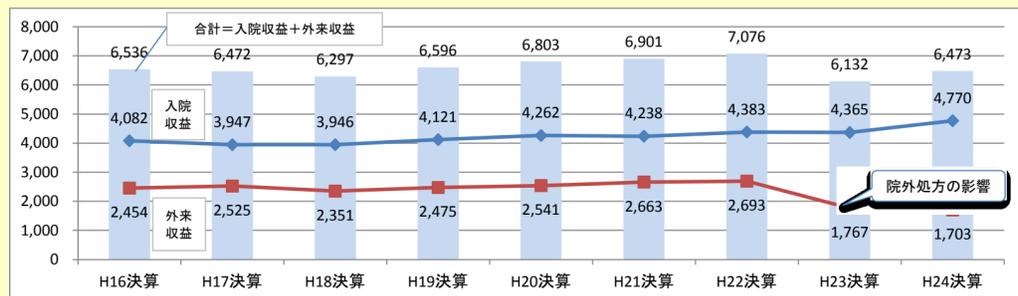


■ 幡多けんみん病院の現状

1 入院収益・外来収益の推移

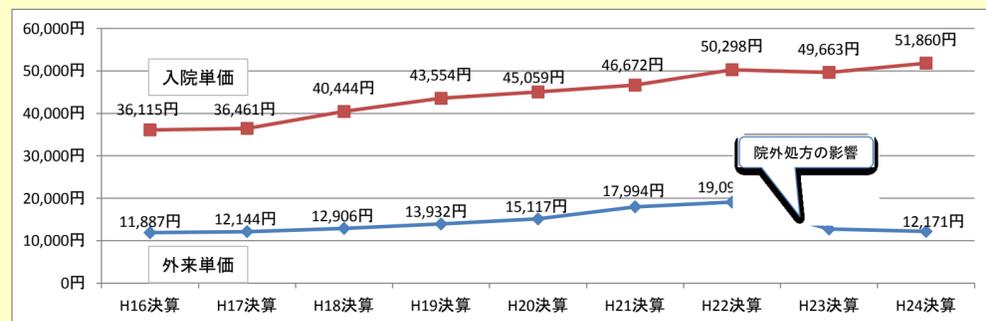
(単位：百万円)

	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
入院収益	4,082	3,947	3,946	4,121	4,262	4,238	4,383	4,365	4,770
外来収益	2,454	2,525	2,351	2,475	2,541	2,663	2,693	1,767	1,703
合計	6,536	6,472	6,297	6,596	6,803	6,901	7,076	6,132	6,473



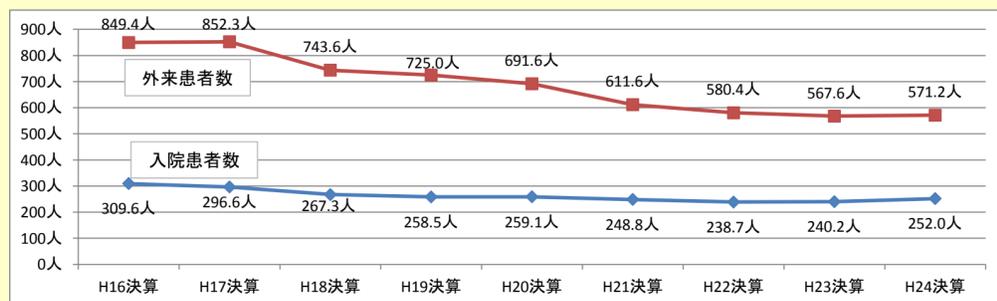
2 患者一人あたりの診療単価の推移

	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
入院単価	36,115円	36,461円	40,444円	43,554円	45,059円	46,672円	50,298円	49,663円	51,860円
外来単価	11,887円	12,144円	12,906円	13,932円	15,117円	17,994円	19,093円	12,755円	12,171円



3 1日平均患者数の推移

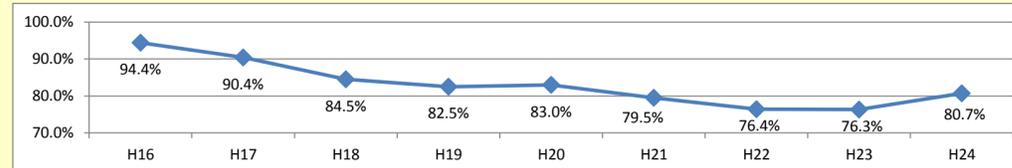
	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	H24決算
稼働病床数	324床	324床	324床 (311床)	311床	311床	311床	311床	311床	311床
入院患者数	309.6人	296.6人	267.3人	258.5人	259.1人	248.8人	238.7人	240.2人	252.0人
外来患者数	849.4人	852.3人	743.6人	725.0人	691.6人	611.6人	580.4人	567.6人	571.2人



4 病床利用率の推移

※稼働病床、一般病床。

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
稼働病床数	324床	324床	324床 (311床)	311床	311床	311床	311床	311床	311床
病床利用率	94.4%	90.4%	84.5%	82.5%	83.0%	79.5%	76.4%	76.3%	80.7%

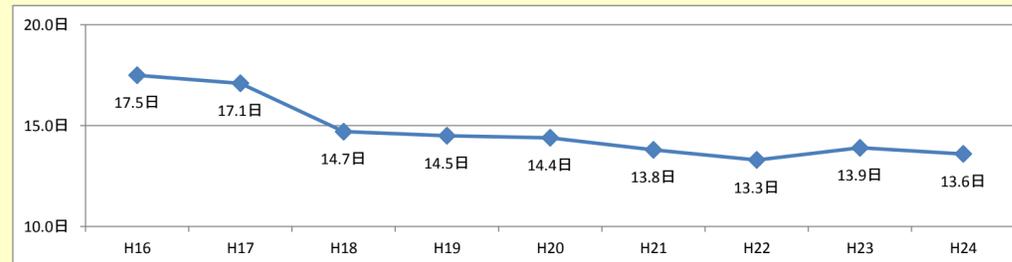


<参考> 月別 病床利用率の推移

	4月	5月	...	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	76.6%	78.7%	...	80.1%	73.7%	77.3%	80.6%	78.8%	76.4%
23年度	76.0%	71.8%	...	74.8%	73.4%	77.2%	85.1%	82.1%	76.3%
24年度	83.4%	85.9%	...	75.0%	71.9%	78.8%	86.3%	82.3%	80.7%
25年度	78.3%	74.2%							76.2%

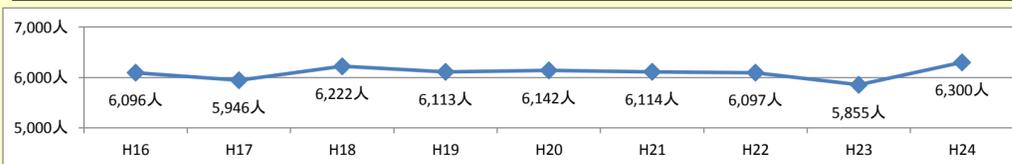
5 平均在院日数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
平均在院日数	17.5日	17.1日	14.7日	14.5日	14.4日	13.8日	13.3日	13.9日	13.6日



6 新入院患者数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
新入院患者数	6,096人	5,946人	6,222人	6,113人	6,142人	6,114人	6,097人	5,855人	6,300人



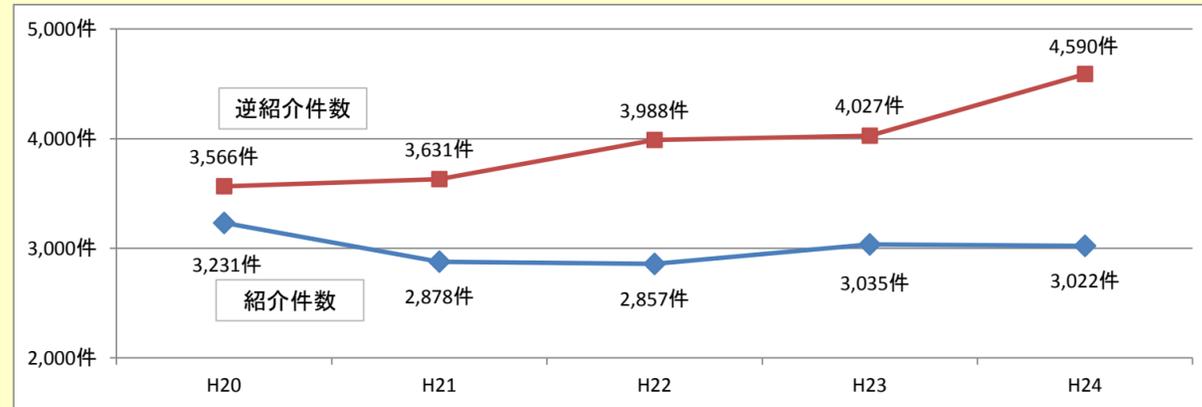
<参考> 月別 新入院患者数の推移

	4月	5月	...	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	517人	537人	...	534人	496人	568人	469人	522人	508.1人
23年度	475人	479人	...	472人	449人	513人	516人	497人	487.9人
24年度	535人	587人	...	492人	481人	561人	495人	486人	525.0人
25年度	493人	505人							499.0人

■ 幡多けんみん病院の現状

7 患者紹介件数・逆紹介件数の推移

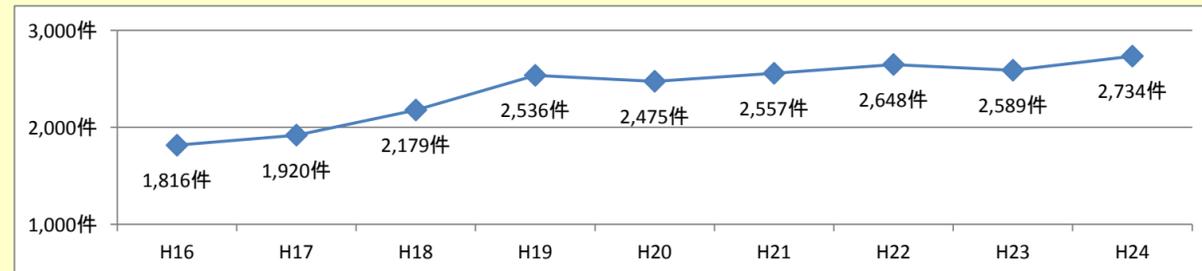
	H20	H21	H22	H23	H24
紹介件数	3,231件	2,878件	2,857件	3,035件	3,022件 (31.9%)
逆紹介件数	3,566件	3,631件	3,988件	4,027件	4,590件 (34.4%)



8 救急患者の受入状況

● 救急車搬送受入件数

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
件数	1,816件	1,920件	2,179件	2,536件	2,475件	2,557件	2,648件	2,589件	2,734件

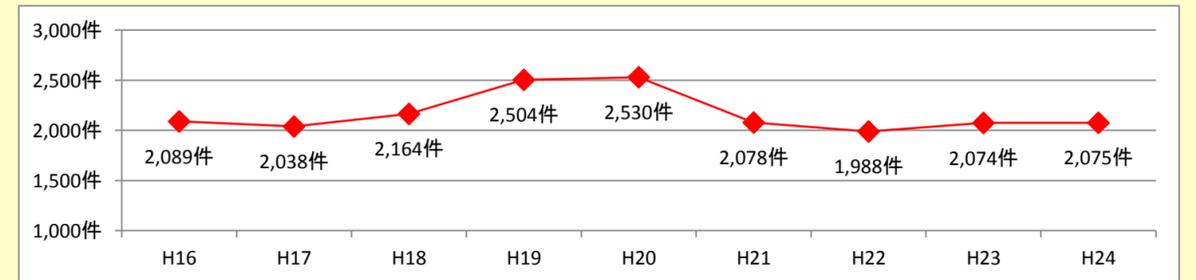


<参考> 月別 救急車搬送受入件数の推移

年度	4月	5月	・・・	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	207件	244件	・・・	235件	236件	252件	188件	207件	220.7件
23年度	186件	176件	・・・	211件	229件	283件	226件	196件	215.8件
24年度	225件	220件	・・・	201件	249件	268件	243件	238件	227.8件
25年度	199件	218件							208.5件

9 手術件数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
総件数	2,089件	2,038件	2,164件	2,504件	2,530件	2,078件	1,988件	2,074件	2,075件
外科	390件	415件	466件	509件	488件	475件	453件	464件	465件
整形	614件	608件	553件	818件	775件	779件	748件	769件	800件
脳外	66件	94件	95件	123件	133件	124件	119件	106件	103件
産婦	239件	243件	232件	210件	240件	208件	254件	261件	258件
眼科	278件	246件	357件	388件	353件	47件	97件	123件	170件
その他	502件	432件	461件	456件	541件	445件	317件	351件	452件



<参考> 月別 手術件数の推移

年度	4月	5月	・・・	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
22年度	146件	140件	・・・	183件	156件	157件	154件	195件	165.7件
23年度	180件	162件	・・・	166件	168件	170件	164件	199件	172.8件
24年度	179件	215件	・・・	171件	184件	175件	181件	185件	187.3件
25年度	172件	180件							176.0件

平成24年度決算の概要（23年度決算との比較）

単位：千円

項目	あき総合病院			幡多けんみん病院			2病院合計			本庁合計			病院事業合計			
	H24決算	H23決算	H24-H23	H24決算	H23決算	H24-H23	H24決算	H23決算	H24-H23	H24決算	H23決算	H24-H23	H24決算	H23決算	H24-H23	
収益	医業収益	2,768,143	2,466,061	302,082	6,634,424	6,284,977	349,447	9,402,567	8,751,038	651,529			9,402,567	8,751,038	651,529	
	入院収益	1,782,696	1,526,435	256,261	4,770,153	4,365,199	404,954	6,552,849	5,891,634	661,215			6,552,849	5,891,634	661,215	
	外来収益	938,299	898,760	39,539	1,703,208	1,766,559	△ 63,351	2,641,507	2,665,319	△ 23,812			2,641,507	2,665,319	△ 23,812	
	その他	47,148	40,866	6,282	161,063	153,219	7,844	208,211	194,085	14,126			208,211	194,085	14,126	
	医業外収益	1,046,126	1,093,560	△ 47,434	1,323,153	1,298,827	24,326	2,369,279	2,392,387	△ 23,108	115,061	118,394	△ 3,333	2,484,340	2,510,781	△ 26,441
	他会計繰入金	1,016,179	1,058,629	△ 42,450	1,248,855	1,221,699	27,156	2,265,034	2,280,328	△ 15,294	113,987	117,099	△ 3,112	2,379,021	2,397,427	△ 18,406
	その他	29,947	34,931	△ 4,984	74,298	77,128	△ 2,830	104,245	112,059	△ 7,814	1,074	1,295	△ 221	105,319	113,354	△ 8,035
	特別利益	19,491	2,998	16,493	438	857	△ 419	19,929	3,855	16,074	10,914	330	10,584	30,843	4,185	26,658
	収益計	3,833,760	3,562,619	271,141	7,958,015	7,584,661	373,354	11,791,775	11,147,280	644,495	125,975	118,724	7,251	11,917,750	11,266,004	651,746
費用	医業費用	4,066,802	4,048,272	18,530	7,328,916	7,220,057	108,859	11,395,718	11,268,329	127,389	115,598	118,186	△ 2,588	11,511,316	11,386,515	124,801
	給与費	2,461,100	2,540,724	△ 79,624	3,623,328	3,567,291	56,037	6,084,428	6,108,015	△ 23,587	96,232	100,829	△ 4,597	6,180,660	6,208,844	△ 28,184
	うち退職手当	270,584	252,240	18,344	229,893	277,718	△ 47,825	500,477	529,958	△ 29,481	87	87		500,564	530,045	△ 29,481
	材料費	532,807	462,530	70,277	1,621,904	1,659,143	△ 37,239	2,154,711	2,121,673	33,038				2,154,711	2,121,673	33,038
	経費	782,993	752,626	30,367	1,284,910	1,248,204	36,706	2,067,903	2,000,830	67,073	15,315	13,241	2,074	2,083,218	2,014,071	69,147
	うち委託費	505,200	489,090	16,110	867,761	857,921	9,840	1,372,961	1,347,011	25,950	2,073	525	1,548	1,375,034	1,347,536	27,498
	減価償却費	257,159	278,973	△ 21,814	721,727	715,335	6,392	978,886	994,308	△ 15,422	18		18	978,904	994,308	△ 15,404
	資産減耗費	22,118	598	21,520	46,756	2,495	44,261	68,874	3,093	65,781				68,874	3,093	65,781
	研究研修費	10,625	12,821	△ 2,196	30,291	27,589	2,702	40,916	40,410	506	4,033	4,116	△ 83	44,949	44,526	423
	医業外費用	166,062	143,330	22,732	425,139	437,951	△ 12,812	591,201	581,281	9,920	1,967	888	1,079	593,168	582,169	10,999
	支払利息及び企業債 取扱諸費	90,561	75,322	15,239	236,302	249,281	△ 12,979	326,863	324,603	2,260				326,863	324,603	2,260
	繰延勘定償却	13,084	11,031	2,053	47,722	47,548	174	60,806	58,579	2,227	3	2	1	60,809	58,581	2,228
	その他	62,417	56,977	5,440	141,115	141,122	△ 7	203,532	198,099	5,433	1,964	886	1,078	205,496	198,985	6,511
	特別損失	559,236	143,634	415,602	95,192	162,445	△ 67,253	654,428	306,079	348,349	20,292	643	19,649	674,720	306,722	367,998
	過年度損益修正損	10,802	31,576	△ 20,774	93,975	125,713	△ 31,738	104,777	157,289	△ 52,512		156	△ 156	104,777	157,445	△ 52,668
	その他特別損失	548,434	112,058	436,376	1,217	36,732	△ 35,515	549,651	148,790	400,861	20,292	487	19,805	569,943	149,277	420,666
	予備費															
	費用計	4,792,100	4,335,236	456,864	7,849,247	7,820,453	28,794	12,641,347	12,155,689	485,658	137,857	119,717	18,140	12,779,204	12,275,406	503,798
当年度損益	△ 958,340	△ 772,617	△ 185,723	108,768	△ 235,792	344,560	△ 849,572	△ 1,008,409	158,837	△ 11,882	△ 993	△ 10,889	△ 861,454	△ 1,009,402	147,948	
収益的資金収支	△ 117,545	△ 361,594	244,049	973,229	572,929	400,300	855,684	211,335	644,349	△ 11,861	△ 991	△ 10,870	843,823	210,344	633,479	

収益的資金収支は、特別損失に計上した現金支出を伴わない医師公舎等の除却費用を除いた場合の収益的資金収支額。

改革プラン(第4.5期)の実績

〈あき総合病院〉

(収益・費用の単位:百万円、H25予算のみ税込)

	H24年度			H25年度		
	計画	実績	差	計画	予算	差
収益						
医療収益	2,767	2,895	128	2,815	2,863	48
うち入院収益	1,718	1,783	65	1,770	1,784	14
うち外来収益	883	938	55	880	898	18
医療外収益	923	919	▲4	927	914	▲13
特別利益	3	19	16			0
収益合計	3,692	3,834	142	3,742	3,777	35
うち他会計繰入金	1,016	1,016	0	1,021	1,011	▲10
費用						
医療費用	4,230	4,067	▲163	4,372	4,749	377
うち職員給与費	2,618	2,461	▲157	2,543	2,557	14
うち退職手当	302	271	▲31	152	132	▲20
うち材料費	488	533	45	508	708	200
うち薬品費	349	370	21	356	407	51
うち診療材料費	132	156	24	135	215	80
医療外費用	189	166	▲23	207	123	▲84
特別損失	540	559	19	22	49	27
うち建物解体に伴う除却費	518	548	30			0
費用合計	4,960	4,792	▲168	4,601	4,922	321
うち減価償却費等※	792	841	49	385	402	17

医療収支	▲1,463	▲1,172	291	▲1,556	▲1,886	▲330
経常収支	▲730	▲419	311	▲836	▲1,095	▲259
当年度損益	▲1,267	▲958	309	▲859	▲1,144	▲285
収益的資金収支	▲476	▲118	358	▲474	▲742	▲268

◎経常収支比率	83.5%	90.1%	6.6%	81.7%	77.5%	▲4.2%
◎職員給与費比率	94.6%	85.0%	▲9.6%	90.3%	89.3%	▲1.0%
材料費比率	17.6%	18.4%	0.8%	18.1%	24.7%	6.6%
薬品費比率	12.6%	12.8%	0.2%	12.6%	14.2%	1.6%
診療材料費比率	4.8%	5.4%	0.6%	4.8%	7.5%	2.7%
入院診療単価						
一般診療科	31,989円	35,191円	3,202円	31,989円	34,100円	2,111円
精神科	14,676円	14,728円	52円	14,676円	14,827円	151円
外来診療単価						
一般診療科	7,618円	8,279円	661円	7,618円	8,076円	458円
精神科	7,716円	7,749円	33円	7,716円	7,774円	58円
1日平均入院患者	191.0人	178.9人	▲12.1人	196.0人	184.0人	▲12.0人
一般診療科	110.0人	109.9人	▲0.1人	115.0人	112.0人	▲3.0人
精神科	81.0人	68.9人	▲12.1人	81.0人	72.0人	▲9.0人
1日平均外来患者	472.1人	466.4人	▲5.7人	472.1人	458.1人	▲14.0人
一般診療科	405.2人	407.1人	1.9人	405.2人	399.5人	▲5.7人
精神科	66.9人	59.3人	▲7.6人	66.9人	58.6人	▲8.3人
◎一般病床利用率(許可)	47.8%	47.2%	▲0.6%	50.0%		
◎一般病床利用率(稼働)	75.3%	74.3%	▲1.0%	78.8%		

注 1 ◎はガイドライン(H19.12総務省通知)における必須項目

2 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある

※ 「減価償却費等」とは、減価償却費、資産減耗費、控除対象外消費税償却及びあき総合病院に建設等に伴う既存建物等の除却費等(特別損失に計上)の合計

改革プラン(第4.5期)の実績

〈幡多けんみん病院〉

(収益・費用の単位:百万円、H25予算のみ税込)

	H24年度			H25年度		
	計画	実績	差	計画	予算	差
収益						
医療収益	6,545	6,733	188	6,544	6,836	292
うち入院収益	4,592	4,770	178	4,599	4,905	306
うち外来収益	1,695	1,703	8	1,688	1,641	▲47
医療外収益	1,224	1,224	0	1,215	1,243	28
特別利益			0			0
収益合計	7,769	7,958	189	7,759	8,079	320
うち他会計繰入金	1,249	1,249	0	1,240	1,295	55
費用						
医療費用	7,453	7,329	▲124	7,548	7,834	286
うち職員給与費	3,775	3,623	▲152	3,824	3,873	49
うち退職手当	231	230	▲1	231	195	▲36
うち材料費	1,630	1,622	▲8	1,612	1,740	128
うち薬品費	944	877	▲67	918	934	16
うち診療材料費	680	740	60	687	799	112
医療外費用	431	425	▲6	418	279	▲139
特別損失	57	95	38	45	44	▲1
うち建物解体に伴う除却費			0			0
費用合計	7,941	7,849	▲92	8,011	8,157	146
うち減価償却費等※	760	865	105	847	836	▲11

医療収支	▲909	▲596	313	▲1,004	▲998	6
経常収支	▲116	203	319	▲207	▲34	173
当年度損益	▲173	109	282	▲252	▲79	173
収益的資金収支	587	973	386	595	757	162

◎経常収支比率	98.5%	102.6%	4.1%	97.4%	99.6%	2.2%
◎職員給与費比率	57.7%	53.8%	▲3.9%	58.4%	56.7%	▲1.7%
材料費比率	24.9%	24.1%	▲0.8%	33.6%	25.5%	▲8.1%
薬品費比率	14.4%	13.0%	▲1.4%	14.0%	13.7%	▲0.3%
診療材料費比率	10.4%	11.0%	0.6%	10.5%	11.7%	1.2%
入院診療単価						
一般診療科	50,570円	51,860円	1,290円	50,638円	52,594円	1,956円
精神科						
外来診療単価						
一般診療科	12,364円	12,171円	▲193円	12,364円	12,082円	▲282円
精神科						
1日平均入院患者	248.8人	252.0人	3.2人	248.8人	255.5人	6.7人
一般診療科	248.8人	252.0人	3.2人	248.8人	255.5人	6.7人
精神科						
1日平均外来患者	559.5人	571.2人	11.7人	559.5人	556.8人	▲2.7人
一般診療科	559.5人	571.2人	11.7人	559.5人	556.8人	▲2.7人
精神科						
◎一般病床利用率(許可)	76.8%	77.5%	0.7%	76.8%		
◎一般病床利用率(稼働)	80.0%	80.7%	0.7%	80.0%		

注 1 ◎はガイドライン(H19.12総務省通知)における必須項目

2 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある

※ 「減価償却費等」とは、減価償却費、資産減耗費、控除対象外消費税償却及びあき総合病院に建設等に伴う既存建物等の除却費等(特別損失に計上)の合計

改革プラン(第4.5期)の実績

〈2病院 合計〉

(収益・費用の単位:百万円、H25予算のみ税込)

		H24年度			H25年度		
		計画	実績	差	計画	予算	差
収益	医業収益	9,311	9,628	317	9,359	9,699	340
	うち入院収益	6,311	6,553	242	6,368	6,689	321
	うち外来収益	2,578	2,641	63	2,568	2,539	▲29
	医業外収益	2,146	2,143	▲3	2,142	2,157	15
	特別利益	3	19	16	0	0	0
	収益合計	11,461	11,792	331	11,501	11,856	355
	うち他会計繰入金	2,265	2,265	0	2,260	2,306	46
費用	医業費用	11,683	11,396	▲287	11,919	12,583	664
	うち職員給与費	6,393	6,084	▲309	6,367	6,430	63
	うち退職手当	533	501	▲32	383	327	▲56
	うち材料費	2,118	2,155	37	2,120	2,448	328
	うち薬品費	1,293	1,247	▲46	1,274	1,341	67
	うち診療材料費	811	896	85	822	1,014	192
	医業外費用	621	591	▲30	625	402	▲223
	特別損失	597	654	57	67	93	26
	うち建物解体に伴う除却費	518	548	30	0	0	0
	費用合計	12,901	12,641	▲260	12,612	13,079	467
	うち減価償却費等※	1,551	1,706	155	1,232	1,238	6

医業収支	▲2,372	▲1,768	604	▲2,560	▲2,884	▲324
経常収支	▲846	▲216	630	▲1,044	▲1,129	▲85
当年度損益	▲1,440	▲849	591	▲1,111	▲1,223	▲112
収益的資金収支	111	855	744	121	15	▲106

指標	◎経常収支比率	93.1%	98.1%	5.0%	91.7%	91.3%	▲0.4%	
	◎職員給与費比率	68.7%	63.2%	▲5.5%	68.0%	66.3%	▲1.7%	
	材料費比率	22.7%	22.4%	▲0.3%	22.7%	25.2%	2.5%	
	薬品費比率	13.9%	13.0%	▲0.9%	13.6%	13.8%	0.2%	
	診療材料費比率	8.7%	9.3%	0.6%	8.8%	10.5%	1.7%	
	入院診療単価	一般診療科	44,873円	46,797円	1,924円	44,743円	46,958円	2,215円
		精神科	14,676円	14,728円	52円	14,676円	14,827円	151円
	外来診療単価	一般診療科	10,371円	10,551円	180円	10,371円	10,408円	37円
		精神科	7,716円	7,749円	33円	7,716円	7,774円	58円
	1日平均入院患者	一般診療科	439.8人	430.9人	▲8.9人	444.8人	439.5人	▲5.3人
		一般診療科	358.8人	361.9人	3.1人	363.8人	367.5人	3.7人
		精神科	81.0人	68.9人	▲12.1人	81.0人	72.0人	▲9.0人
	1日平均外来患者	一般診療科	1,031.6人	1,037.6人	6.0人	1,031.6人	1,014.9人	▲16.7人
		一般診療科	964.7人	978.3人	13.6人	964.7人	956.3人	▲8.4人
		精神科	66.9人	59.3人	▲7.6人	66.9人	58.6人	▲8.3人
	◎一般病床利用率(許可)	64.8%	64.9%	0.1%	65.7%			
	◎一般病床利用率(稼働)	78.5%	78.7%	0.2%	79.6%			

注 1 ◎はガイドライン(H19.12総務省通知)における必須項目

2 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある

※ 「減価償却費等」とは、減価償却費、資産減耗費、控除対象外消費税償却及びあき総合病院に建設等に伴う既存建物等の除却費等(特別損失に計上)の合計

I 改革プラン改訂版(第4.5期計画)について

- ◆高知県公営企業局では、「公立病院改革ガイドライン(H19.12.24付け総務省通知)」に基づき、H21～23年度を計画期間とする「高知県立病院改革プラン(第4期経営健全化計画)」をH21.3に策定し、県立病院の経営の健全化に向けた取り組みを進めています。
- ◆本年度は計画期間の最終年度にあたり、本来であればH24年度からの新たな経営計画を策定することとなります。
一方、現在、建設整備を進めている「あき総合病院」の開院をH26.4と決定しましたが、現時点でH26年度以降の経営計画を策定するには、具体的な診療体制など多くの変動要素や不確定要素があります。
- ◆そのため、H24・25年度の2年間は、「あき総合病院」開院までの移行期ととらえ、現行の改革プランの計画期間を2年間延長することで対応することとし、H24～25年度を計画期間とする「高知県立病院改革プラン改訂版(第4.5期経営健全化計画)」を策定しました。

1 改革プランの概要

- ◆名称 高知県立病院改革プラン(第4期経営健全化計画)
- ◆策定時期 H21.3
- ◆計画期間 H21～23年度(3年間)
- ◆目標 収益的資金収支において病院事業トータルで資金不足をおこさない経営の維持
- ◆取組項目 ①医師の確保・定着の促進
②経営の健全化
③良質で安全な医療の提供

目標の達成状況

計画期間における病院事業トータルの収益的資金収支では資金不足は生じておらず、目標を達成することができた

残る課題への対応

病院個別では、医療提供面・経営面ともにそれぞれ課題があるため「計画期間を2年間延長」し、更に取り組みを進めていく

改訂版

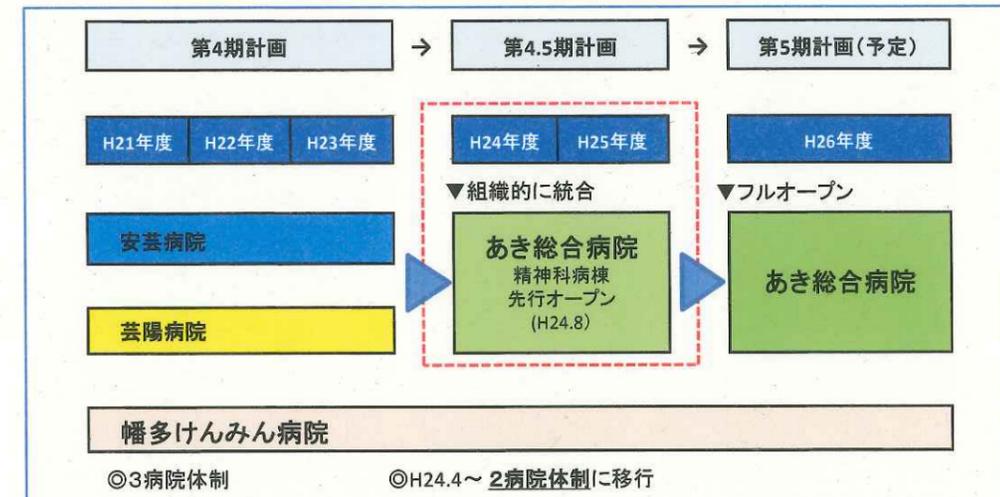
- ◆名称 高知県立病院改革プラン(第4.5期経営健全化計画)
- ◆計画期間 平成24・25年度(2年間)
- ◆目標
[医療の視点] 将来にわたり、地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供
[経営の視点] 収益的資金収支において病院事業トータルで資金不足をおこさない経営の維持
- ◆取組項目 ①医師の確保、②良質で安全な医療の提供
③経営の健全化

2 計画期間延長の背景

(1)「あき総合病院」開院までの移行期への対応

- ◆H24.4～ ・安芸病院と芸陽病院を「組織的に」統合
→「あき総合病院」に改称
※県立病院は、あき総合病院と幡多けんみん病院の2病院体制に移行
- ◆H24.8～ ・精神科病棟を先行オープン
- ◆H26.4～ ・あき総合病院フルオープン(一般病棟を含め、建物全体のオープン)

●H24・25年度の2年間は新病院に向けた移行期となる



(2)「日本一の健康長寿県構想」など医療政策との連携

- ◆安芸保健医療圏地域医療再生計画(H22.1)
■病院GP*の養成拠点【安芸病院=あき総合病院】
- ◆日本一の健康長寿県構想(H22.2～)
■地域の中核病院としての県立安芸病院・芸陽病院の機能充実
→あき総合病院の整備
■地域の中核病院としての県立幡多けんみん病院の機能充実
→地域がん診療連携拠点病院に指定(H24.4)
- ◆高知県地域医療再生計画(H23.6)
■医師確保対策の推進→医師公舎の整備【あき総合病院】
■がん医療の充実→がん診療機器の整備【幡多けんみん病院】

※病院GPとは、地域で必要とされ、かつ地域の医療機関や専門医との連携により、多くの疾患に幅広く対応できる総合的な診療能力を備えた医師

「第4.5期計画」で目指す目標

1 病院事業全体

医療の視点

◆将来にわたり、地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供する

経営の視点

◆単年度の収益的資金収支において病院事業トータルで資金不足をおこさない経営を維持する

2 あき総合病院

医療の視点

◆一般病院(安芸病院)と精神科病院(芸陽病院)の統合メリットを最大限に発揮する
◆安芸保健医療圏において二次救急など地域の医療を支える中核病院となるようハード面・ソフト面での整備を進める

経営の視点

◆一般病床利用率※75%を目指す(H24・25年度)
・H21:72.4%→H22:67.2%→H23:66.8%→H24・25:75%
◆精神病床利用率※90%を目指す(H24・25年度)
・H21:81.1%→H22:76.1%→H23:49.6%→H24・25:90%

3 幡多けんみん病院

医療の視点

◆地域の中核病院として機能強化を図る
(地域がん診療連携拠点病院(H24.4指定))

経営の視点

◆一般病床利用率※80%を目指す(H24・25年度)
・H21:79.5%→H22:76.4%→H23:76.3%→H24・25:80%

※目標とする病床利用率は、稼働病床数ベース
稼働病床数=あき(一般)146床、あき(精神)90床、幡多311床
あき総合病院の精神病床利用率の実績値は、旧芸陽病院の153床に対する利用率

「第4.5期計画」における重点取組項目

1 医師の確保

- (1)高知大学医学部との連携強化
健康政策部・高知医療再生機構との連携強化
- (2)医師の処遇向上
- (3)若手医師の養成
- (4)病院GPの養成【あき総合病院】

2 良質で安全な医療の提供

- (1)『日本一の健康長寿県構想』への取り組み
- (2)医療の質的向上
- (3)患者サービスの向上
- (4)地域連携の推進

3 経営の健全化

- (1)マネジメントの充実
- (2)収益の確保
- (3)未収金の縮減
- (4)費用の適正化
- (5)資産管理の適正化
- (6)遊休資産の売却

第4.5期計画の取り組み状況

取り組み項目	課題	取り組み内容	数値目標	達成状況	【平成25年度】第1四半期評価					コメント (計画以上、遅延の場合)	
					計画 達成	計画以上	計画通り	遅延	評価 保留		
I 医師の確保	1 高知大学医学部との連携 健康政策部・高知医療再生機構との連携強化	(1) 継続的、安定的な医師の確保 ・あき開院時 (H26.4) の目標医師数確保 (一般科28名、精神科3名) ・常勤不在診療科の解消 [あき] 呼吸器科、脳神経外科、麻酔科 [幡多] 呼吸器科、精神科、眼科	①高知大学医学部への訪問【継続】	公営企業局長訪問回数 【H24年度】延べ45回 【H25年度】延べ11回(4～6月)				○		(H25.7.1時点) ・あき(精神除く) 医師1名増員 (H23.4比) ※内科 1名増 ※放射 1名増 小児科1名減 ・あき(精神) 2名減 ※研究休職1名を除く ・幡多 医師3名増員 (H23.4比) ※内科 3名増 ※循環 1名増 ※脳外 1名増 ※麻酔 2名増 整形、小児、産婦、放射 各1名減 ・あき 麻酔科診療応援の回数増 (H24.4～) 1回/週→2回/週 脳神経外科診療応援の開始 (H25.1～) 1回/週 引き続き、両院長、局が一体となって、高知大学への要請等を行う。	
			②高知大学が行う実習及び研修に協力【継続】	1-3 (1)				○			
			③若手医師の診療技能の維持・向上を目的とした高知大学医学部との連携【あき】【継続】						○		
			④公開医療講座に高知大学医学部関係者を講師として招へい【継続】	【H24年度】 (あき) 7/14 脳神経外科准教授 11/10 老年病・循環器・神経内科学教室准教授 3/9 麻酔科学・集中治療学講座准教授 (幡多) 12/9 小児思春期医学教室助教					○		
			⑤高知大学との文献検索サービスの共同利用【継続】	H24年度契約済み(継続利用中)					○		
			⑥健康政策部・高知医療再生機構との連携の強化【継続】	H24.4の経営者会議で意見交換を実施 H25.3～再生機構の紹介により鮫島医師(あき:救急)が赴任					○		
2 医師の処遇向上	(1) 医師の負担の軽減	①医師の負担を軽減するため、医師事務補助者を増員【H24年度】	2名増(1名→3名) ・一般病棟1名→2名(100対1加算から75対1加算にランクアップ) ・精神病棟0名→1名	H24.4～ ・一般病棟1名→2名(5/1～75対1) ・精神病棟0名→1名 H25.5～ ・一般病棟2名→4名(5/1～40対1)				○			
		あき					○				
		幡多	2名増(7名→9名)	H24.4～ 配置2名増			○				
(2) 病院賠償責任保険で対応できない訴訟への対応	②勤務医賠償責任保険への加入(2病院計保険料:340万円/年)【H24年度】			H24.4から加入 医師への周知を行った			○				
(3) [あき] 居住環境の改善(医師公舎の整備)	③医師公舎の新築【継続】 H24.11 世帯用2棟(全12戸(6戸×2棟)) H25年度 単身用1棟(9戸)			発注済み(H24.12.27完成) 実施設計を委託(H24.2.28納期)			○				
3 若手医師の養成	(1) 初期臨床研修施設としての体制整備	①初期臨床研修医の受け入れ【継続】 [あき] ・協力型病院として、各病院から研修生を積極的に受け入れる ・H26年度の基幹型研修施設再認定に向けて、取り組みを進める		【H24年度】 6/8 高知大 臨床研修合同説明会参加 6/15 第1回卒後臨床研修委員会開催 7/20 第1回画像症例検討会開催 7/23 高知大学医学部に研修医募集を掲示 8/24 第2回画像症例検討会開催 9/10 第2回卒後臨床研修委員会開催 9/21 第3回画像症例検討会開催 10/19 第4回画像症例検討会開催 11/5～1/6 研修医を1名受入(整形・産婦人科) 11/5 第2回高知県臨床研修連絡協議会出席 1/18 第5回画像症例検討会開催 3/11 第3回高知県臨床研修連絡協議会出席 3/15 第6回画像症例検討会開催 【H25年度】 H25.4～ 研修医(地域医療研修)受入 3名※ 4/19 第1回画像症例検討会開催 5/17 第2回画像症例検討会開催 6/6 第1回高知県臨床研修連絡協議会出席				○		※研修期間1ヶ月×3名 7月以降も、1ヶ月×7名を受入予定 その他、内科研修2ヶ月×1名を受入予定	
		[幡多] ・基幹型臨床研修病院として、継続的な研修医の受入のための取り組みを進める		【H24年度】 H24.4～ 4名(合計6名(1年目:4名,2年目:2名)) 【取組実績】 4/29 岡山、東京臨床研修病院合同説明会参加 6/8 高知大 臨床研修合同説明会参加 7/15 東京 レジナビフェア参加 8/20-21 幡多地域道場受入 28名 9月～2月高知大学外実習受入 28名 3/20 東京 レジナビフェア参加 【H25年度】 H25.4～ 5名(合計9名(1年目:5名,2年目:4名)) 4/21 東京eレジナビフェア参加 5/19 大阪eレジナビフェア参加 6/6 高知大臨床研修合同説明会参加 6/24 高知大学外臨床実習合同説明会参加 6/30 大阪レジナビフェア参加				○			

第4.5期計画の取り組み状況

取り組み項目	課題	取り組み内容	数値目標	達成状況	【平成25年度】第1四半期評価				コメント (計画以上、遅延の場合)				
					計画 達成	進捗状況 計画以上	計画通り	遅延		評価 保留			
I 医師の確保	3 若手医師の養成	(1) 初期臨床研修施設としての体制整備	②自治医科大学出身医師に対する支援【継続】		【H24年度】 (あき) 実績回数：馬路診療所代診1回（4/13、8/27、10/5、3/29） 要請があれば随時対応 (幅多) 3名(沖の島、十和、大月)×週1回 当院研修 代診実績回数：大月病院2回代診(10/5、1/26) 【H25年度】 (あき) 実績回数：馬路診療所代診0回 要請があれば随時対応 (幅多) 2名(大月)×週1回 当院研修								
		(2) 県医師養成奨学金受給医師の受入体制の整備	③指定医療機関で従事義務を有する医師の受入体制を整備【H24・25年度】 ●高知大学医学部内に新設される地域医療支援センターとの連携による医師の受け入れ ●指導医の確保、専門医認定のための施設認定の取得		【H24年度】両院長が委員として、地域医療支援センター運営委員会に出席				○				
	4 病院GPの養成 (あき)	(1) 研修プログラムの策定	①研修プログラムの策定【継続】 ●病院GP養成プログラム検討委員会で議論を行い、全体のロードマップを確定する ●ロードマップに従い、具体的な作業に着手する		【H24年度】 8/16 実務責任者の医師と協議 9/13 コアメンバーによる協議を実施 3/9 高知大学医学部学生を対象に、あき総合病院へのバスツアーを実施（参加者：16名） 【H25年度】 6/17 高知大学医学部にて「未来医療人材養成拠点形成事業」に関する協議を実施					○			
		(2) 院内推進体制の整備	②院内推進体制の整備【継続】		【H24年度】基幹型臨床研修施設再認定に向けて、院長・的場医師を中心に取り組み					○			
II 良質で安全な医療の提供	1 『日本一の健康長寿県構想』への取り組み	(1) 「あき総合病院」の整備	①局長と院長が一体となって大学に医師の派遣を要請【継続】		I-1- (1)								
		・計画する医師の確保 ・運営システム等の検討	②H26.4に着実に電子カルテシステムを稼働させる【継続】		【H24年度】ベンダを決定し、システム開発スタート					○			
			③病院GPの養成に向けた取り組みを進める		I-4								
	(2) 地域がん診療連携拠点病院の指定に向けた取り組み	①局長と院長が一体となって大学に医師の派遣を要請（常勤医、診療応援）【継続】		I-1- (1)									
	・専門医の充実 ・看護、コメディカルの充実 ・高度医療機器の更新	②看護、コメディカルの充実【H24年度】 ●がん化学療法認定看護師を配置（2名） ●細胞検査士を配置（1名）		【H24年度】 (2名 H24.7.4資格取得) 4.1～ 1名配置済						○			
		③高知県地域医療再生計画の事業を活用して計画的に更新を行う【H24・25年度】 ●H24年度：MRI（約1.5億円） ●H24～25年度：リニアック（約3.4億円） ●H25年度：CT（約1.2億円）		H25.3導入済 H24.12.12 契約(2.74億円) H26.2導入予定 H25年度入札実施						○			
	2 医療の質的向上	(1) H24.4病院統合に伴う診療体制の充実 【あき】（一般科と精神科の融合による相乗効果の発揮）	①精神科身体合併症への対応→精神科身体合併管理加算	増収見込：160万円/年	【H24年度】増収額：31万円（68日） 【H25年度】増収額：8万円（17日）						○	治療の対象となる患者が少なく、増収見込を下回る結果となっている。	
			②緩和ケアの充実→精神科医による精神状態の緩和ケアの実施		【H24年度】実績なし							○	
			③精神科と小児科の連携による発達障害への対応 →専門機関での研修受講による資質向上		【H24年度】6/4～6/7研修会出席 【H25年度】7/2研修会出席							○	
(2) 地域がん診療連携拠点病院としての体制の充実【幅多】		①H24年度 細胞検査士の増員（2名→3名）		H24.4.1～ 1名増						○			
		②H24年度 がん化学療法認定看護師（2名）を配置		H24.7.4 2名資格取得						○			
		③H24・25年度 高度医療機器（リニアック、MRI、CT）を更新		リニアック（H24.12.12契約、H25年度更新） MRI（H25.3更新済）						○			
(3) 医療提供機能の充実		あき	合計	合計：1,667万円/年	【H24年度】合計：1,560万円 【H25年度】合計：376万円								
	●【放射線科】カテーテル治療の実施		増収見込：1,189万円/年	【H24年度】増収額：513万円（30件） 【H25年度】増収額：98万円（6件）						○	治療の対象となる患者が少なく、一部の項目について増収見込を下回る結果となっている。		
	●【皮膚科】乾癬、アトピー性皮膚炎に対する紫外線治療の実施		増収見込：70万円/年	【H24年度】増収額：18万円（54件） 【H25年度】増収額：17万円（51件）									
	●【耳鼻科と眼科の連携】鼻涙管閉塞症手術の実施		増収見込：218万円/年	【H24年度】実績なし 【H25年度】実績なし									
幅多	●【感染管理認定看護師の配置（1名）】感染防止対策加算の取得	増収見込：190万円/年	【H24年度】増収額：1,029万円（2,058件） 【H25年度】増収額：261万円（577件）										
	合計	合計：582万円/年	【H24年度】合計：444万円 【H25年度】合計：286万円							○			
	●服薬指導の充実（薬剤師1人あたり件数の増） (H22年度：243件/月→H23年度：368件/月)	増収見込：150万円/年 (H24・25年度：400件/月)	【H24年度】増収額：340万円（450件/月） 【H25年度】増収額：57万円（420件/月）										
●急性期リハビリ体制の充実 ・言語聴覚士を配置し、脳卒中リハビリを実施【H24年度】 ・作業療法士を配置し、リハビリを拡充（脳血管疾患、運動器）【H25年度】	増収見込：432万円/年	【H24年度】増収額：104万円（1,046件） 【H25年度】増収額：120万円（603件）											
	増収見込：617万円/年	【H25年度】増収額：109万円（605件）											

第4.5期計画の取り組み状況

取り組み項目	課題	取り組み内容	数値目標	達成状況	【平成25年度】第1四半期評価				コメント (計画以上、遅延の場合)		
					計画 達成	進捗状況 計画以上	計画通り	遅延		評価 保留	
2 医療の質的向上	(4) 資格取得の促進	あき ●H24年度 感染管理認定看護師(1名) <再掲>		H24.7.11 1名資格取得済み	○						
		幅多 ●H24年度 がん化学療法認定看護師(2名)		H24.7.4 2名資格取得	○						
		●H25年度 創傷・オストミー失禁看護認定看護師(1名) 重傷集中ケア認定看護師(1名) 感染管理認定看護師(1名) (●H26年度 救急看護認定看護師(1名))		H24.6月~12/21研修修了 (H25.7.4資格取得) H24.5月~12/21研修修了 (H25.7.4資格取得) H24.6月~ 1/30研修修了 (H25.7.4資格取得) (H25.6月~ 研修中 (12/20修了予定))			○				
						○					
	(5) 医療安全、感染対策の充実	あき ●委員会の開催:医療安全委員会(1回/月)、感染対策委員会(1回/月)			【H24年度】医療安全12回、感染16回(07/14対策臨時会4回含む) 【H25年度】 医療安全3回、感染3回				○		
		●研修会の開催:医療安全研修(14回/年以上実施)、感染対策研修(2回/年以上)			【H24年度】医療安全14回、感染5回(+外部研修5回) 【H25年度】 医療安全6回、感染2回				○		
		●H24年度 感染管理認定看護師 1名配置 <再掲>			II-2-(4)						
		幅多 ●委員会の開催:医療安全委員会(1回/月)、感染対策委員会(1回/月)			【H24年度】医療安全委員会 12回 【H25年度】 " 3回 【H24年度】感染対策委員会 13回 【H25年度】 " 3回				○		
		●研修会の開催:医療安全研修(6回/年以上実施)、感染対策研修(2回/年以上)			【H24年度】医療安全研修 14回 【H25年度】 " 4回 【H24年度】感染対策研修 5回 【H25年度】 " 秋開催予定				○		
3 患者サービスの向上	(1) 職員の接遇意識の維持、向上	あき ●接遇研修を実施(2回/年)		【H24年度】 第1回接遇研修(7月)未修者への追加研修を実施 第2回接遇研修(9/11)委託業者による実施 【H25年度】 全職員を対象に、8月以降に接遇DVD研修を実施予定(3~5回)				○			
		●医事業務受託者の接遇チェックを実施		【H24年度】 10/29、11/15、12/13実施 総合評価:良 【H25年度】 10月~12月に実施予定				○			
		幅多 ●接遇研修を実施(1回/年)【継続】		【H24年度】12/10実施 参加者数182名 【H25年度】12/10開催予定				○			
		●医事業務受託者の接遇チェックを実施【H24・25年度】		【H24年度】1/22実施 評価:良 【H25年度】(7月実施)				○			
	(2) 食事満足度の向上	あき ●サイクルメニューの内容改善を実施	患者満足度(嗜好調査)で80%以上の評価を目標		【H24年度】 8月、9月に嗜好調査実施済み 「ふつう」「満足」の合計 74% 3月に嗜好調査実施済み 「ふつう」「満足」の合計 64% 【H25年度】 嗜好調査を8月実施予定				○		朝ごはんのボリュームアップと食事のバリエーションをつけるように努める。
		幅多 ●サイクルメニュー(28日分)の内容改善を実施	患者満足度(嗜好調査)で80%以上の評価を目標		【H24年度】 6月の嗜好調査実施結果 「ふつう」「満足」の合計 82% 1月実施結果「ふつう」「満足」の合計 78% 【H25年度】 6月実施結果「ふつう」「満足」の合計 88%				○		
	(3) 地域住民等に対するアピールの充実	あき ●精神科領域を含めたテーマ設定による「ふれあい医療教室」の開催【継続】			【H24年度】7/14、11/10、3/9開催 【H25年度】7/13開催				○		
		●広報誌の充実【継続】			【H24年度】発行部数 Vol.1: 900部 Vol.2: 1,000部 Vol.3: 1,000部 (計2,900部) 【H25年度】発行部数 Vol.4: 1,500部(6月発行)				○		
		●出前講座(学校、各種団体等)の開催【H24・25年度】			【H24年度】 小学生を対象とした「いのちの教室」(講師:助産師) 10月、11月に4回実施 【H25年度】 小学生を対象とした「いのちの教室」(講師:助産師) 9月~12月に5回実施予定				○		
		幅多 ●「幅多ふれあい医療公開講座」の継続開催(年6回)			【H24年度】 6回開催(4/15、6/17、9/9、10/6、12/9、2/17) 【H25年度】 2回開催(4/14、6/16)				○		

第4.5期計画の取り組み状況

取り組み項目	課題	取り組み内容	数値目標	達成状況	【平成25年度】第1四半期評価					コメント (計画以上、遅延の場合)	
					計画 達成	進捗状況 計画以上	計画通り	遅延	評価 保留		
II 良質で安全な医療の提供	3 患者サービスの向上	(4) 療養環境の改善	あき ●完全敷地内禁煙を実施 幅多 ●25年度末までに、全有料個室(82部屋)を温水洗浄便座に取替(1,460万円)		H26年度実施予定 【H24年度】 12/21 契約(1,082万円) 3月末 41部屋取替済み 【H25年度】 4月 残り41部屋取替済 5月8日 完了検査	○					
	4 地域連携の推進	(1) 地域の中核病院としての機能拡充 地域の医療機関との連携強化	あき ①局長と院長が一体となって大学に医師の派遣(常勤・診療応援)を要請【継続】 ②-1地域連携室の機能強化 ●H24年度:看護師1名増員 →具体的な業務を整理し、必要な職種・人員の配置を検討 ●H25年度:新体制に移行 ②-2医師会(地元開業医)との関係強化【継続】 ●医師会の会合等にあき総合病院医師が参加 ●医師紹介パンフレット作成のうえ、地域の医療機関を訪問【H24年度】		I-1- (1) H24.4 看護師1名増員→5人体制とした 【H24年度】 業務・人員等について地域連携WGにて検討中 【H24年度】 画像症例検討会を実施(7/20、8/24、9/21、10/19、11/16、1/18、3/15) 【H25年度】 画像症例検討会を実施(4/19、5/17) 院長が直接、地元医療機関を訪問 【H24年度】1施設 (H24年度は県東部の全市町村を訪問) 【H25年度】16施設			○			
			幅多 ①地域連携機能の強化【継続】 ●カンファレンスを通して、地域の医師との交流を深め、連携機能の強化を図る ●新規バス(急性冠症候群(心筋梗塞など)、腎臓病など)の策定 ●がんに関する勉強会の開催継続(1回/月開催)		【H24年度】 6/1地域連携パ ^o SWG開催(他院2名参加) 9/20 " (他院2名参加) 2/21 " (他院1名参加) 【H25年度】 5/28地域連携パ ^o SWG開催(他院1名参加) 6/18地域連携合同検討委員会(他院2名参加) 【H24年度】 胃がん・大腸がん(化学療法あり)検討中 【H25年度】 胃がん・大腸がん(化学療法あり)検討中 【H24年度】 10回開催(4/20、5/18、6/15、7/20、9/7、10/12、11/16、1/11、2/15、3/15) 【H25年度】 4回開催(4/12、5/10、6/7、7/12)			○			
			(2) しまんとネットの利用拡大	②「しまんとネット」の利用拡大 ●医療機関・介護サービス事業者に加えて調剤薬局にも拡大	目標:30施設【H25年度末】	H24年度末現在:37施設 (医療機関21、在宅介護機関6、調剤薬局10) H25年度6月末現在:44施設 (医療機関21、在宅介護機関6、調剤薬局16、歯科1)			○		
III 経営の健全化	1 マネジメントの充実	(1) 経営管理体制の刷新	新しいスキームの経営管理体制を再構築し、改革プランや予算の進捗を管理【H24・25年度】 <内部統制> ■「経営者会議」 ●既存の「院長等会議」を病院事業の経営方針を決定するための会議体として再構築 ●病院事業(病院間)の共通課題に対応する場として設置 ●議事録に公営企業局長、各病院長が署名することで責任を明確化 ■「経営幹部会議」(H23.10~試行開始) ●管理職をメンバーとする少人数の会議体として、各病院に設置 ●本庁からも幹部職員が出席し、情報共有と迅速な意思決定を図る ●予算や改革プランの進捗管理や経営課題の共有及び解決策の立案などに機動的に対応 ■「運営会議」 ●経営幹部会議における決定事項等を各部署に伝達する場として設置		H24.4第1回経営者会議を開催 議事録を整備 H24.11第2回経営者会議を開催 H24.4から正式運用 報告様式を病院間で統一 H25.4 第3回経営者会議を開催			○			
	(2) プロパー事務職員の育成	◆「人材育成基本方針」を策定【H24年度】		【H24年度】 H24.5 第1回検討会開催 H24.6~7 職員インタビュー実施 H24.7 第2回検討会開催 H24.8 第3回検討会開催 H24.12 「県立病院人材育成基本方針」策定	○						

第4.5期計画の取り組み状況

取り組み項目	課題	取り組み内容	数値目標	達成状況	【平成25年度】第1四半期評価					コメント (計画以上、遅延の場合)
					計画 達成	進捗状況			評価 保留	
						計画以上	計画通り	遅延		
1 マネジメントの充実	(2) フロア事務職員の育成	◆「人材育成基本方針」の本格的運用を開始【H25年度】								
		①病院職員としての専門性の向上 ●医療人としてのホスピタリティを涵養する ・院内における現場実習の実施(受付、総合案内など) ・接遇研修、マナー研修の実施 ●医療制度に対する理解を深める ・専門機関等による研修への派遣等を実施 ●病院組織に対する理解を深める(病院事務全般に精通した職員を育成) ・採用後の院内研修やOJTの充実 ・院内におけるジョブローテーション(総務-業務-経営企画)の実施 ・病院間・本庁との交流(異動)の実施 ●病院経営・公営企業会計に対する理解を深める ・病院経営や簿記・公営企業会計に関する知識の修得		【H24年度】 H25.1 人材育成研修(職場研修)開催 「モチベーションを高め、組織力を高める」 受講者 あき7名(1/17) 幅多7名(1/16) 計14名 【H25年度】 H25.4 病院間・本庁との交流(異動)の実施 H25.4 新採研修の実施 受講者 あき2名 幅多3名 計5名 H25.4 接遇研修(主事・主査研修)の実施 受講者 あき5名 幅多4名 県立病院課3名 計12名						
2 収益の確保	(1) 病床利用率の改善 [安芸] 一般:66.8%(H23) [芸陽] 精神:49.6%(H23) [幅多] 一般:76.3%(H23)	あき ●一般病床:病床利用率75%(110人/日)【H24・25年度】	増収見込:1.4億円/年	【H24年度】増収額:2.8億円 【H25年度】増収額:1.1億円						
		●精神病床:病床利用率90%(81人/日)【H24・25年度】 ※病床利用率は稼働病床数ベース(一般:146床、精神90床) 増収見込は、H23年度の病床利用率との収入差	病床利用率(一般)75% (精神)90%	【H24年度】病床利用率(一般)74.3% 【H25年度】75.4% 【H24年度】病床利用率(精神)76.6% 【H25年度】86.6%						
		幅多 ●一般病床:病床利用率80%(249人/日)【H24・25年度】 ※病床利用率は稼働病床数ベース(311床) 増収見込は、H23年度の病床利用率との収入差	増収見込:2.3億円/年 病床利用率(一般)80%	【H24年度】増収額:4.0億円 【H25年度】増収額:0.6億円 【H24年度】病床利用率(一般)81.0% 【H25年度】病床利用率(一般)77.0%						
III 経営 の 健全 化	(2) 診療報酬制度への的確な対応	あき ①新たな施設基準の取得及び治療法の導入実施【H24年度】	合計 : 2,624万円/年	【H24年度】合計 : 1,872万円						施設基準について、取得可能なものは全て取得したが、増収額が見込額を下回るものについては、治療の対象となる患者が少ないため。 引き続き、医療スタッフとの連携を密にし、さらなる増収に向けた取り組みを進めていく。
		●放射線科常勤医によるカテーテル治療の実施	増収見込: 1,189万円/年	【H25年度】合計 : 538万円 【H24年度】増収額: 513万円(30件)						
		●耳鼻科と眼科の連携による鼻涙管閉塞手術の実施	増収見込: 218万円/年	【H25年度】増収額: 98万円(6件) 【H24年度】増収額: 実績なし						
		●精神科身体合併管理加算	増収見込: 160万円/年	【H25年度】増収額: 実績なし 【H24年度】増収額: 31万円(68日)						
		●乾癬、アトピー性皮膚炎に対する紫外線治療	増収見込: 70万円/年	【H25年度】増収額: 8万円(17日) 【H24年度】増収額: 18万円(54件)						
		●急性期病棟等退院調整加算 I	増収見込: 143万円/年	【H25年度】増収額: 17万円(51件) 【H24年度】増収額: 59万円(294件)						
		●呼吸器リハビリテーション料 I	増収見込: 34万円/年	【H25年度】増収額: 19万円(102件) 【H24年度】増収額: 47万円(276件)						
		●画像診断管理加算 I	増収見込: 730万円/年	【H25年度】増収額: 6万円(37件) 【H24年度】増収額: 874万円(6,985件) 加算Ⅱ含						
		●医師事務作業補助体制加算「100対1」→「75対1」	増収見込: 80万円/年	【H25年度】増収額: 291万円(1,854件) 加算Ⅱ含						
		②病院統合(一般科と精神科の融合)による相乗効果の発揮【H24年度】								
		●精神科身体合併症への対応 →精神科身体合併管理加算の取得<再掲>		Ⅱ-2-(1)-①						
		③医業外収益の確保【H24年度】	増収見込: 10万円/年							
		●診療費領収証への広告掲載								
		幅多 ①診療報酬制度への的確な対応【H24年度】	合計 : 741万円/年	【H24年度】合計 : 637.1万円の増 【H25年度】合計 : 403.4万円の増						
		●新たな施設基準の取得	合計 : 591万円/年	【H24年度】合計 : 297.1万円の増 【H25年度】合計 : 237.4万円の増						
		・脳血管リハビリ	増収見込: 432万円/年	【H24年度】増収額: 104.6万円(1,046件) 【H25年度】増収額: 120万円(201件)						
		・検体検査管理加算Ⅱ	増収見込: 113万円/年	【H24年度】増収額: 131万円 【H25年度】増収額: 93.4万円						
		・がん診療連携拠点病院加算	増収見込: 46万円/年	【H24年度】増収額: 61.5万円(123件) 【H25年度】増収額: 24万円(49件)						

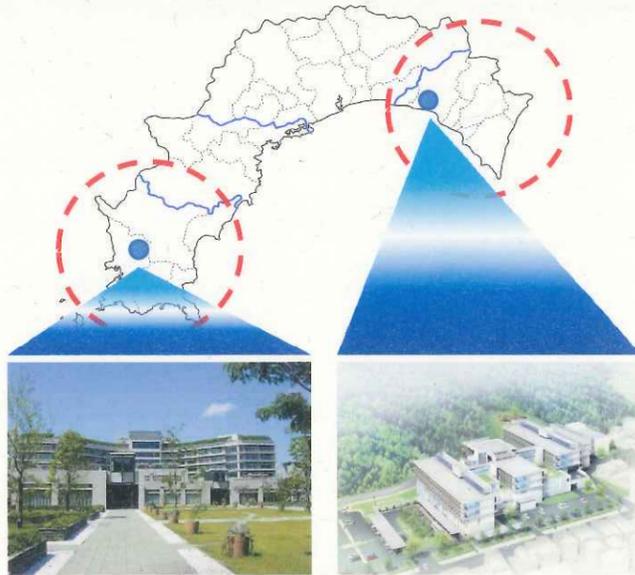
第4.5期計画の取り組み状況

取り組み項目	課題	取り組み内容	数値目標	達成状況	【平成25年度】第1四半期評価					コメント (計画以上、遅延の場合)		
					計画 達成	進捗状況			評価 保留			
					計画以上	計画通り	遅延					
2 収益の確保	(2) 診療報酬制度への的確な対応	<ul style="list-style-type: none"> ●地域がん診療連携拠点病院の指定 <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院加算<再掲> ●服薬指導の件数の増 <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数 (H22:243件/月→H23:368件/月) 	増収見込: 150万円/年 (H24・25年度:400件/月)	Ⅲ-2-(2)-幅多① 【H24年度】増収額: 340万円 (450件/月) 【H25年度】増収額: 57万円 (420件/月)				○				
		<ul style="list-style-type: none"> ●急性期リハビリ体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士配置により、脳卒中リハ(脳血管リハ)を開始<再掲> ・作業療法士の配置によるリハビリの拡充【H25年度】 	増収見込: 617万円/年	Ⅲ-2-(2)-幅多① 増収額: 109万円								
		②医療外収益の確保【H24年度】	増収見込: 20万円/年					○				
3 未収金の縮減	(1) 過年度未収金の縮減 ・不良債権化の防止 ・悪質滞納者への対応	①回収委託の拡充【H24年度～】	●委託する時期の前倒しを行い、専門家のノウハウを積極的に活用する		【H24年度】 H24.10 未収金回収業務委託に係る全国照会を実施 H24.11 未収金回収担当WG開催 H25.1 未収金回収業務委託プロポーザル公告 H25.3 未収金回収業務委託契約 (H25.4.1～) 【H25年度】 H25.5 新規委託先(司法書士法人)にて回収業務開始			○				
		②法的措置(支払督促)の実施【継続】	●年1回、判定会を開催し、選定基準を満たす者に対して法的措置(支払督促)を実施する						○	H24.11 調査の結果、対象案件なし		
4 費用の適正化	(1) 材料費の適正化 ・在庫管理の適正化 ・調達の改善	①在庫管理【H25年度】	あき ●在庫数量の適正化 ・同規模病院との比較等による適正化	回転期間 薬品: 20日未満 診療材料: 14日未満	【H24年度】薬品: 22.1日 【H25年度】薬品: 19.0日 【H24年度】診材: 39.0日 【H25年度】診材: 41.7日				○			
			幅多 ●在庫数量の適正化 ・同規模病院との比較等による適正化		【H24年度】薬品: 28.3日 【H25年度】薬品: 31.0日 【H24年度】診材: 19.4日 【H25年度】診材: 20.2日				○			
		②調達	あき ●契約方法、体制の見直しにより、値引率の向上を目指す【H25年度】 ・多職種(事務、医師、薬剤師)による契約交渉を実施【H24年度】	値引率 薬品: 値引率12% 診材: インプラント値引率12%	【H24年度】薬品: 9.35% 【H25年度】薬品: 9.30% 【H24年度】診材: 11.99%(インプラント) 1月以降他職種(薬剤料)も含め交渉実施 【H25年度】診材: 11.43%(インプラント) 1月以降他職種(薬剤料)も含め交渉実施				○		H25年度に在庫管理の適正化・調達の改善について、検討を行う。	
			幅多 ●契約方法、体制の見直しにより、値引率の向上を目指す【H25年度】 ・多職種(事務、医師、薬剤師)による契約交渉を実施【H24年度】		【H24年度】薬品: 9.29% 【H25年度】薬品: 9.40% 【H24年度】診材: 10.56%(インプラント) 9月 多職種による交渉を実施 【H25年度】診材: 15.32%(インプラント)				○			
			・コンサルタントの導入について検討し結論を出す【H24年度】 ・県立病院間での共同購入を実施【H25年度】							○		
		(2) 委託費の適正化 ・医療機器保守料の適正化 (競争性の確保) ・委託業務仕様書の適正化	①医療機器の調達方法の見直しを検討【H24年度】	●購入価格だけでなく、将来の保守料を含めた調達方法の導入についての検討		【H24年度】全国照会を実施				○		
	②主要な委託契約について仕様書の見直しを実施	●現場の業務実態を踏まえて、ゼロベースでの仕様書の見直しを実施(コンサル検討)		【H24年度】H25当初予算に申請				○				
	あき H24年度(H25年度契約) 清掃、設備保守、守衛			【H24年度】I期工事部分についての委託業務量積算は24年度契約で完了				○				
		H25年度(H26年度契約) 医事、給食、検体検査、清掃、設備保守、守衛		【H24年度】委託の業務範囲等について、コンサルタントとともに継続検討中				○				
		幅多 H24年度(H25年度契約) 清掃、守衛		【H24年度】 清掃は日常清掃の回数を見直し、2/20入札、契約済み 守衛は、業務実態を踏まえ仕様書の見直し検討後、現行の仕様内容継続し3/28入札。				○				
		H25年度(H26年度契約) 給食		【H25年度】仕様書内容等について、コンサルタントとともに検討中								
		H26年度(H27年度契約) 医事、検体検査、設備保守		【H25年度】H25.9月補正にてコンサル予算計上予定								

第4.5期計画の取り組み状況

取り組み項目	課題	取り組み内容	数値目標	達成状況	【平成25年度】第1四半期評価				コメント (計画以上、遅延の場合)	
					計画 達成	進捗状況 計画以上	計画通り	遅延		評価 保留
Ⅲ 経営の 健全化	5 資産管理の適正化	(1) たな卸資産管理の改善	①棚卸資産管理方法の見直し【H24年度】 ●棚卸資産の管理について、病院間で統一的な運用を実施する ・棚卸資産管理マニュアルの策定 ・受払記録の適正化（管理システム導入）※システム導入はH25年度		H25年度に実施				○	病院間で統一的な管理手法の確立を検討する
			②病院統合に伴う薬品在庫の適正化【あき】【H24年度】 ●同種同効薬の統一化、使用頻度の低い薬品の定数外化などにより在庫量の適正化を図る		H25年度に実施				○	開院へ向けて、具体的な検討を行なう
	(2) 固定資産管理の改善	①除却等手続きのマニュアル化【H24年度】 ②現物と台帳との実査体制の整備【H24年度】 ③管理ラベル様式の統一【H24年度】 ④管理システムの導入【H24年度】		【H24年度】 7/23 病院担当者を集めての第1回WG開催 H25年度に実施				○	マニュアルの最終調整中 (H25年度内に完成予定)	
	6 遊休資産の売却	(1) 地価下落による実勢価格との乖離 ・建物の早期解体	①処分計画の着実な実行 ●建物については、経営状況（資金収支）を勘案のうえ、順次、解体していく		【H24年度】 H24.12 宝永町公舎解体工事契約締結 H24.12 宝永町、万々、谷田不動産鑑定を委託 H25.1 万々公舎解体工事完成 H25.1 愛宕山南町、南金田売却公告 H25.2 南金田売却（167百万円） H25.3 宝永町、万々、谷田売却公告 【H25年度】 H25.4 宝永町、万々※、谷田：応札なし →媒介へ移行				○	H24年度 南金田を売却済（167百万円） ※万々：商談中

第5期経営健全化計画の策定について



平成25年8月
公営企業局 県立病院課

■ 計画の概要

- 1 名称 ・ 第5期経営健全化計画
- 2 計画期間 ・ 3年間（H26～28年度）
- 新 3 将来的に目指す姿（ビジョン）
 - ・ 地域から信頼される病院
 - ・ 医療スタッフを育てる病院
 - ・ 経営体として持続可能な病院
- 4 目標
 - ・ PDCAを踏まえ、原則、数値目標（定量的）
 - ・ 「医療の視点」と「経営の視点」
- 改 5 重点施策
 - ① 医師をはじめとする医療スタッフの確保
 - ② 人材の育成
 - ③ 良質な医療の提供
 - ④ 経営の健全化
 - ⑤ 南海地震対策の充実・強化
- 6 収支計画
 - ・ 3年間+向こう10年程度の収支見通（ロング表）
 - ・ 総収支（最終損益）より「経常収支」を重要視
 - ・ あき総合病院：単年度黒字の達成年度を明記
- 7 推進体制
 - ・ 全体調整：県立病院課
 - ・ 病院窓口：事務部長
 - 新 ・ 経営支援アドバイザーの設置
 - ・ 経営幹部会議（毎月）、経営者会議（随時）
- 8 外部の意見を反映する仕組み
 - ・ 経営健全化推進委員会
 - 新 ・ 同 オブザーバー（安芸郡医師会、幡多医師会）
 - 新 ・ 経営支援アドバイザーの設置【再掲】
 - 新 ・ コンサルの導入【後述】
- 新 9 コンサルの導入
 - ・ 対象：幡多けんみん病院
 - ・ 時期：H25～26年度（予算は9月補正。債務負担）
 - ・ 内容：収益構造、費用構造の分析、改善提案
 - ・ 措置：アクションプランを作成、実行

■ これまでの経営計画の策定状況

期	第1期	第2期	第3期	第4期	第4.5期	第5期	
年度	H6～H10	H11～H15	H16～H20	H21～H23	H24・H25	H26～H28	
期間	5年間	5年間	5年間	3年間	2年間	3年間	
名称	経営改善実施計画	経営健全化計画	第3期経営健全化計画	県立病院改革プラン（第4期経営健全化計画）	県立病院改革プラン改訂版（第4.5期経営健全化計画）	第5期経営健全化計画	
県立病院の枠組み	中央	→					
	安芸	→			→ あき総合病院		
	芸陽	→			→		
	西南	→					→ 幡多けんみん病院
	宿毛	→					→

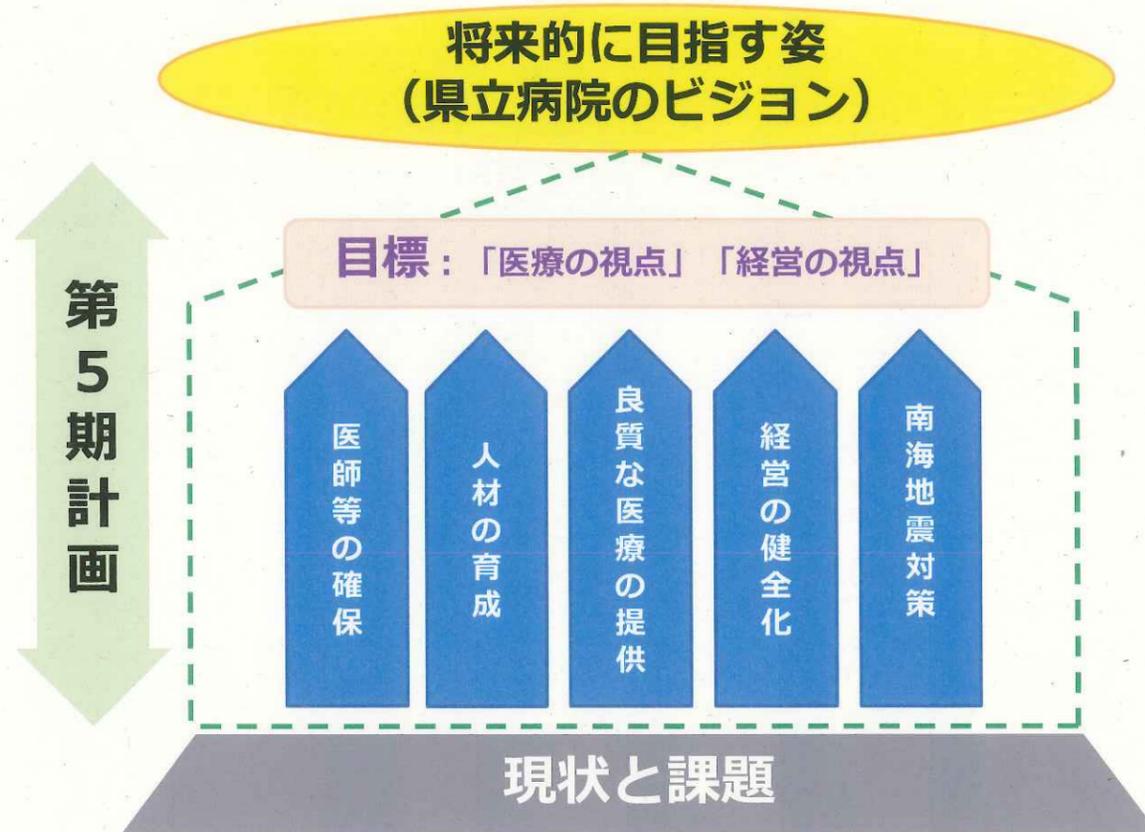
今後のスケジュール

<これまでの取り組み>

- 4月 26日 経営者会議において方向性を確認
- 5月 下旬 経営幹部会議において「基本的な考え方」を了承
- 6月 月上旬 職員に対する説明会を開催（幡多6/5、あき6/7）
- 7月 22日 経営支援アドバイザーと協議
- 7月 25日 幡多医師会との意見交換会を開催
- 8月 7日 経営健全化推進委員会を開催、「計画（骨子）」を策定

<今後の予定>

- 8月 27日 安芸郡医師会との意見交換会を開催
- 11月 までに 「計画（素案）」を策定
- 2月 までに 経営健全化推進委員会を開催、「計画（原案）」を策定
- 3月 中旬 県議会（危機管理文化厚生委員会）で報告 → 公表



■ 外部の意見を反映する仕組み

① 経営健全化推進委員会

- ・年度内に2回（8月と2月（予定））開催し、経営健全化計画の策定について指導助言をいただく。
- ・両病院長共に「地域連携の推進を重要視」していることから、設置要綱第5条第2項の規定に基づき、安芸郡医師会長（臼井先生）及び幡多医師会長（木俣先生）にオブザーバーとして意見をいただく。

高知県立病院経営健全化推進委員会設置要綱（抄）

- (目的)
第1条 県立病院における経営の健全化の推進に関し、高知県立病院改革プラン（以下「改革プラン」という。）の進捗状況について指導及び助言を行うため、高知県立病院経営健全化推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。
- (任務)
第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議を行うものとする。
(1) 改革プランの進捗状況に関すること。
(2) その他県立病院の経営健全化の推進に向けた指導及び助言に関すること。
- (会議)
第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。
2 委員長は、必要に応じ委員以外の者を招集し、意見を聞くことができる。

② 経営支援アドバイザー

- ・病院経営指導の専門家から実務的な技術的指導及び助言（ノウハウや情報の提供）をいただく。

あき総合病院の整備

H25予算額 5,787,203千円

新病院の目指す姿

- 安芸保健医療圏における中核的な病院として、圏域内の他の医療機関や、圏域外の高次の医療機関と連携し、地域の人々に適切な医療を提供する病院とする。
- 地域に開かれた病院、地域の人々にとって身近な病院として地域から親しまれ信頼される病院とする。
- 豊かな自然に恵まれた県東部地域のシンボルとなる病院とする。
- 合理的で効率的な経営を行い、将来にわたり持続可能な病院とする。 (「安芸地域県立病院(仮称)整備の『基本方針』」(H21.1))

平成25年度予算額

■ 病院本体、医師公舎建設費等	3,229,430千円
■ 医療情報システム開発等委託料	648,326千円
■ 医療機器(循環器血管造影装置、頭腹部血管造影装置、磁気共鳴断層撮影装置等)	1,908,015千円
■ 事務費	1,432千円
計	5,787,203千円

診療機能

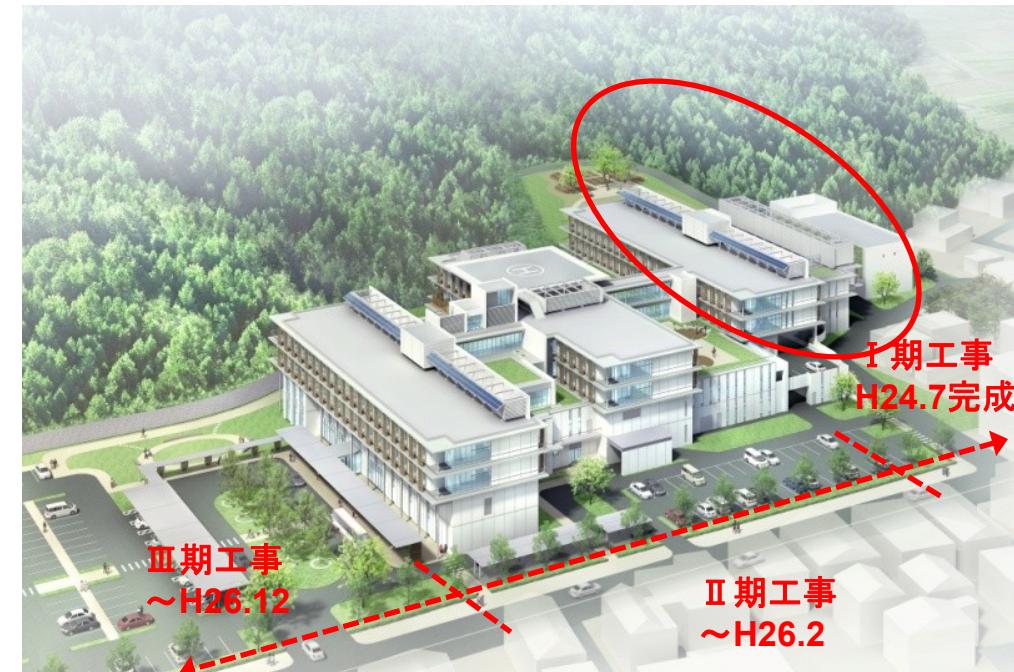
- 二次救急医療(ヘリポート設置)
- 周産期・小児医療(NICU的機能)
- へき地医療拠点病院(巡回診療)
- 災害拠点病院(免震構造、DMAT*)
- 病院GP**の養成拠点
- 東部地域の精神科医療

*DMAT(ディーマツト): 災害派遣医療チーム
 **病院GP: 地域で必要とされ、かつ地域の医療機関や専門医との連携により、多くの疾患に幅広く対応できる総合的な診療能力を備えた医師

病床数・診療科

- 病床数 270床
 一般175 結核5 精神90
- 18 診療科
 内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科、産婦人科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科、神経内科

完成予想図



整備スケジュール

スケジュールどおり順調に進んでいる!

年度	H22	H23	H24	H25	H26
実施設計	→				
建設工事					
第Ⅰ期	着工	精神科部門の建設	8月 精神科部門オープン		
第Ⅱ期				4月 病院全体オープン	
第Ⅲ期		H24.4.1 病院統合	芸陽病院の病棟解体、一般診療科部門の建設		12月 工事完成
公舎整備 看護宿舎	20戸	9戸	6戸+6戸	9戸	オープンに向けて順次整備 ○看護宿舎⇒20戸(1棟) ○医師公舎⇒30戸(4棟)
医師公舎Ⅰ		医師公舎ⅡⅢ	医師公舎Ⅳ		
運営システム等の構築					オープンに向けて円滑な移行準備
医療情報システム整備(電子カルテ)					
医療機器の整備					

総事業費

(単位: 百万円)

事業費一覧	総事業費 (実績見込み)	年度					
		H21	H22	H23	H24	H25	H26
病院本体	5,922			2,280	736	2,886	20
設計・管理	299	60	156	29	12	32	11
医師・看護宿舎	662	0	128	152	237	145	0
医療機器等	2,682	0	0	64	62	2,556	0
その他(外構、事務費等)	793	12	11	225	115	108	322
計	10,358	72	295	2,749	1,161	5,728	352
津波対策	243			52	123	60	8
総計	10,601	72	295	2,801	1,285	5,787	361